

第2章 観光客実態調査

1. インターネット調査（葛飾区訪問経験者）

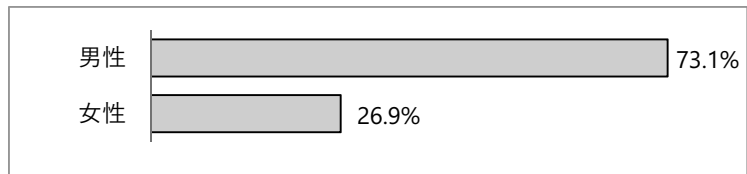
（1）調査概要

	概 要
調査方法	インターネットリサーチ
実施期間	平成29年9月13日～平成29年9月22日
調査対象	葛飾区を除く東京都在住、または東京都以外の道府県に在住し、平成28年4月1日以降に葛飾区内の観光地を訪れたことがある16歳以上の男女を対象とした。
回収方法	<ul style="list-style-type: none">・有効回答数1,000票を目標に、WEBにてアンケートを実施し、スクリーニング後の有効回答票を回収した。・スクリーニング時に区内15箇所の観光スポットの写真を例示した。
回収数	1,000票
留意点	<ul style="list-style-type: none">・比率は全て百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が100%にならないことがある。・複数回答においては、%の合計が100%を超える場合がある。・グラフ及び集計表における選択肢の文章は、一部省略している場合がある。

(2) 回答者属性

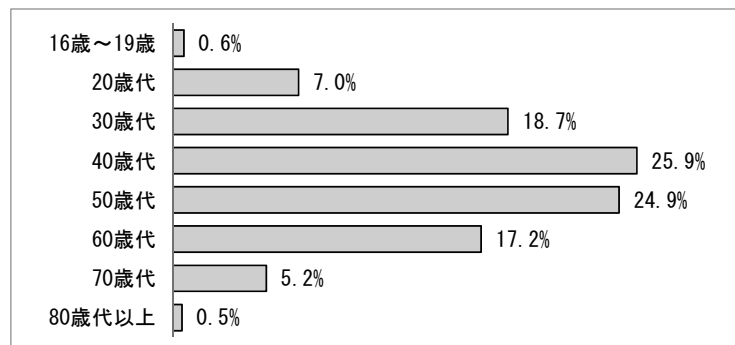
[1] 性別

	回答数	割合
男性	731	73.1%
女性	269	26.9%
全体	1,000	100.0%



[2] 年代

	回答数	割合
16歳～19歳	6	0.6%
20歳代	70	7.0%
30歳代	187	18.7%
40歳代	259	25.9%
50歳代	249	24.9%
60歳代	172	17.2%
70歳代	52	5.2%
80歳代以上	5	0.5%
全体	1,000	100.0%



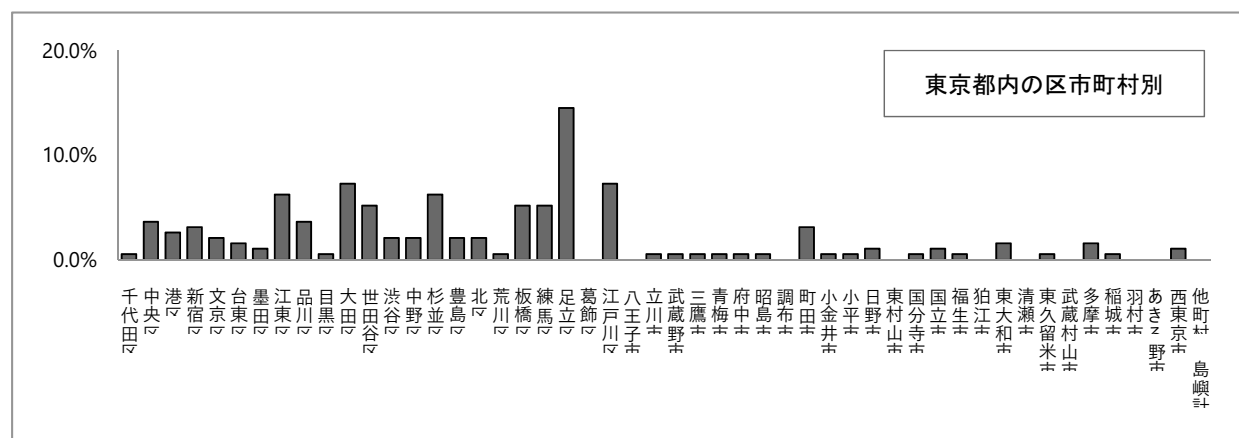
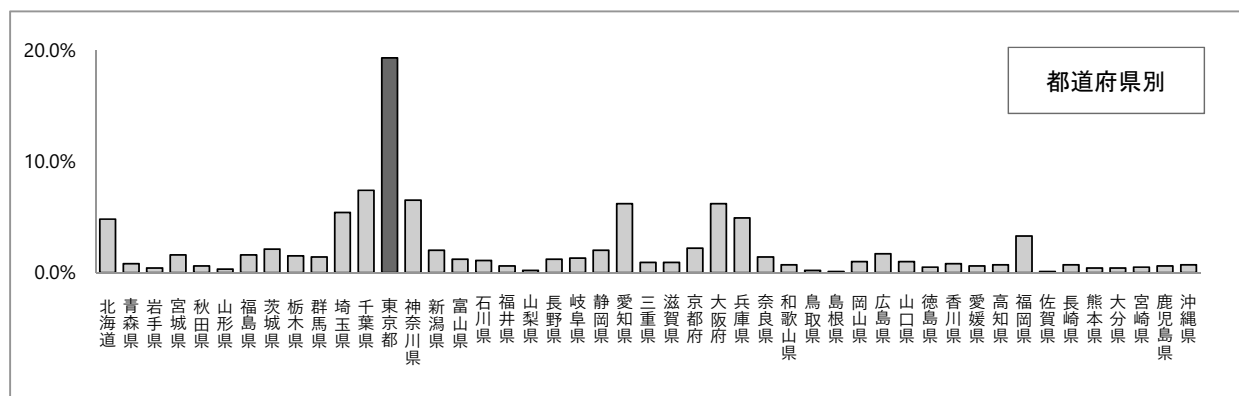
[3-1] 居住地（都道府県別）

	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
北海道	48	4.8%	石川県	11	1.1%	岡山県	10	1.0%
青森県	8	0.8%	福井県	6	0.6%	広島県	17	1.7%
岩手県	4	0.4%	山梨県	2	0.2%	山口県	10	1.0%
宮城県	16	1.6%	長野県	12	1.2%	徳島県	5	0.5%
秋田県	6	0.6%	岐阜県	13	1.3%	香川県	8	0.8%
山形県	3	0.3%	静岡県	20	2.0%	愛媛県	6	0.6%
福島県	16	1.6%	愛知県	62	6.2%	高知県	7	0.7%
茨城県	21	2.1%	三重県	9	0.9%	福岡県	33	3.3%
栃木県	15	1.5%	滋賀県	9	0.9%	佐賀県	1	0.1%
群馬県	14	1.4%	京都府	22	2.2%	長崎県	7	0.7%
埼玉県	54	5.4%	大阪府	62	6.2%	熊本県	4	0.4%
千葉県	74	7.4%	兵庫県	49	4.9%	大分県	4	0.4%
東京都	193	19.3%	奈良県	14	1.4%	宮崎県	5	0.5%
神奈川県	65	6.5%	和歌山県	7	0.7%	鹿児島県	6	0.6%
新潟県	20	2.0%	鳥取県	2	0.2%	沖縄県	7	0.7%
富山県	12	1.2%	島根県	1	0.1%	全体	1,000	100.0%

[3-2] 居住地（東京都内の区市町村別）

	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
千代田区	1	0.5%	荒川区	1	0.5%	日野市	2	1.0%
中央区	7	3.6%	板橋区	10	5.2%	東村山市	0	0.0%
港区	5	2.6%	練馬区	10	5.2%	国分寺市	1	0.5%
新宿区	6	3.1%	足立区	28	14.5%	国立市	2	1.0%
文京区	4	2.1%	葛飾区	0	0.0%	福生市	1	0.5%
台東区	3	1.6%	江戸川区	14	7.3%	狛江市	0	0.0%
墨田区	2	1.0%	八王子市	0	0.0%	東大和市	3	1.6%
江東区	12	6.2%	立川市	1	0.5%	清瀬市	0	0.0%
品川区	7	3.6%	武蔵野市	1	0.5%	東久留米市	1	0.5%
目黒区	1	0.5%	三鷹市	1	0.5%	武蔵村山市	0	0.0%
大田区	14	7.3%	青梅市	1	0.5%	多摩市	3	1.6%
世田谷区	10	5.2%	府中市	1	0.5%	稲城市	1	0.5%
渋谷区	4	2.1%	昭島市	1	0.5%	羽村市	0	0.0%
中野区	4	2.1%	調布市	0	0.0%	あきる野市	0	0.0%
杉並区	12	6.2%	町田市	6	3.1%	西東京市	2	1.0%
豊島区	4	2.1%	小金井市	1	0.5%	他町村、島嶼計	0	0.0%
北区	4	2.1%	小平市	1	0.5%	全体	193	100.0%

[3-3] 居住地グラフ（都道府県別及び東京都内の区市町村別）



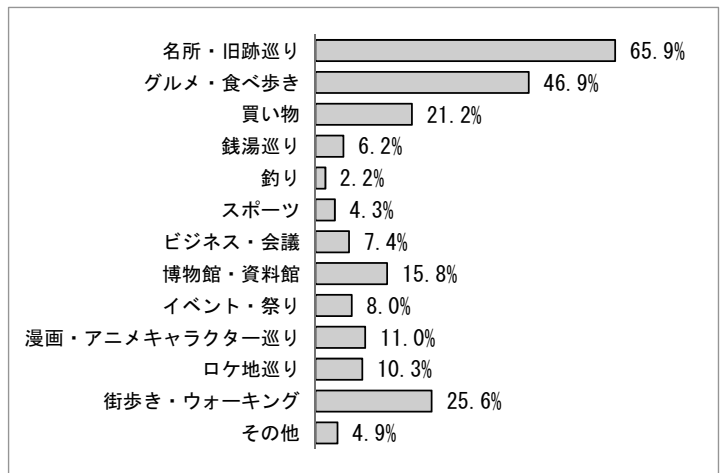
(3) 回答結果

《直近の葛飾区への訪問について》

Q 1 : 来訪の目的は何ですか。(複数回答可)

◆前回調査と比較すると、「名所・旧跡巡り」(65.9%)、「グルメ・食べ歩き」(46.9%)、「買い物」(21.2%)の順で多い結果となったのは同様の傾向であったが、今回調査で新たな選択肢として加えた「漫画・アニメキャラクター巡り」(11.0%)、「ロケ地巡り」(10.3%)、「街歩き・ウォーキング」(25.6%)が一定数を獲得し、葛飾区観光の新たな目的となっていることが確認できた。また、「グルメ・食べ歩き」を含め、散策系のものが多いのが特徴的である。

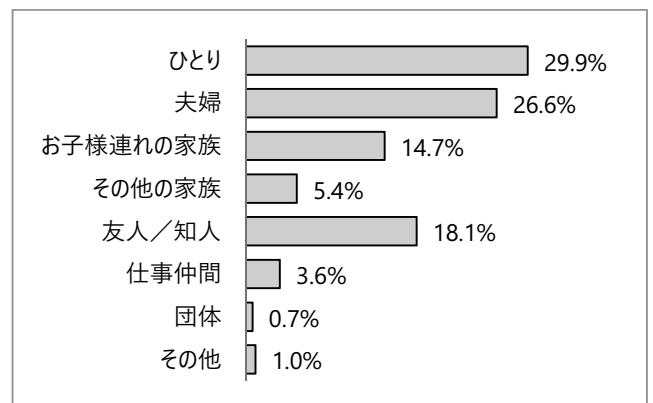
	回答数	割合
名所・旧跡巡り	659	65.9%
グルメ・食べ歩き	469	46.9%
買い物	212	21.2%
銭湯巡り	62	6.2%
釣り	22	2.2%
スポーツ	43	4.3%
ビジネス・会議	74	7.4%
博物館・資料館	158	15.8%
イベント・祭り	80	8.0%
漫画・アニメキャラクター巡り	110	11.0%
ロケ地巡り	103	10.3%
街歩き・ウォーキング	256	25.6%
その他	49	4.9%
全体	1,000	



Q 2-1 : どなたと一緒に葛飾区を来訪されましたか。

◆「夫婦」(26.6%)、「友人／知人」(18.1%)とも前回調査から微減となり、前回はそれらに次ぐ3番目であった「ひとり」(29.9%)が最も多い回答となった。少人数での訪問が多くなっており、散策系の志向が多いこととの関連性もうかがえる。

	回答数	割合
ひとり	299	29.9%
夫婦	266	26.6%
お子様連れの家族	147	14.7%
その他の家族	54	5.4%
友人／知人	181	18.1%
仕事仲間	36	3.6%
団体	7	0.7%
その他	10	1.0%
全体	1,000	100.0%



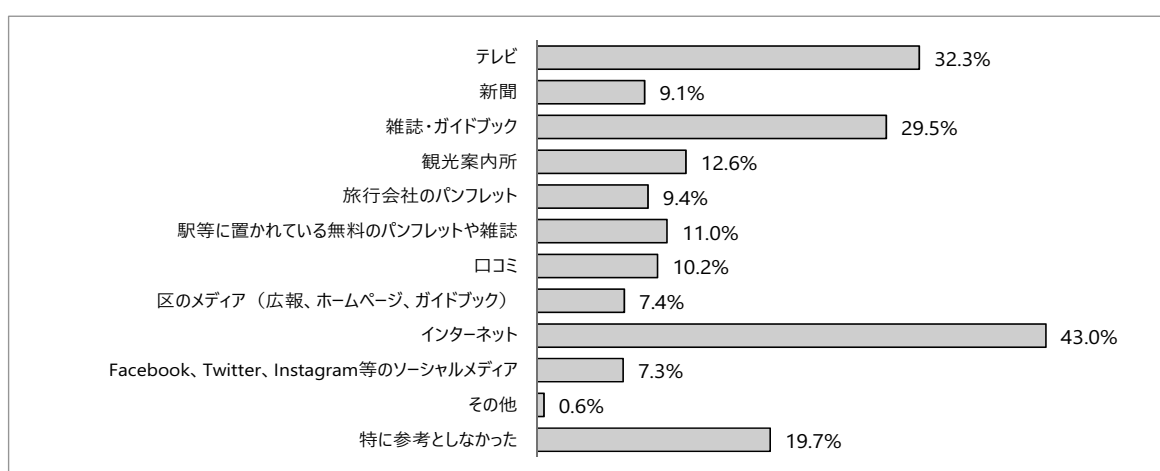
Q 2-2 : 葛飾区を来訪された際のあなた自身を含めた同行者数をお教えてください。

最小値 1 人 最大値 40 人 平均値 3.24 人 有効回答数 : 704 人

Q 3 : 来訪されるにあたり、葛飾区等の観光情報を何から得ましたか。(複数回答可)

- ◆ 「インターネット」(43.0%) が最も多いものの、前回調査と比較すると減となった。一方で「Facebook、Twitter、Instagram 等のソーシャルメディア」(7.3%) が前回から約 5% 増となり、情報収集の手段としての拡大がうかがえる。また、「テレビ」(32.3%) が前回から大きく伸びており、葛飾区におけるシティーセールスやフィルムコミッション事業の成果と考えることもできる。
- ◆ 「新聞」(9.1%)、「雑誌・ガイドブック」(29.5%) も情報収集メディアとしての利用は根強い。

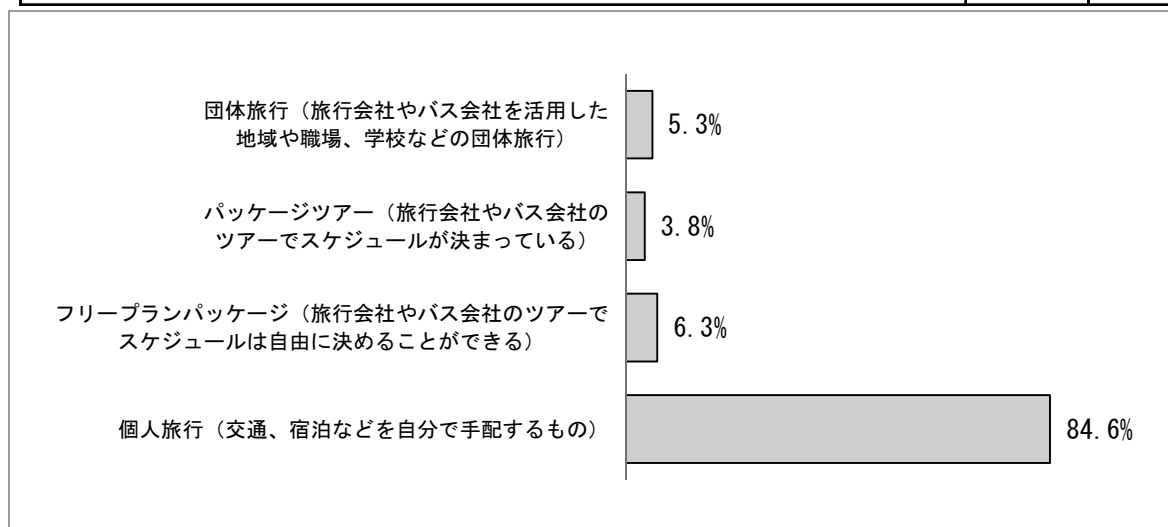
	回答数	割合
テレビ	323	32.3%
新聞	91	9.1%
雑誌・ガイドブック	295	29.5%
観光案内所	126	12.6%
旅行会社のパンフレット	94	9.4%
駅等に置かれている無料のパンフレットや雑誌	110	11.0%
口コミ	102	10.2%
区のメディア (広報、ホームページ、ガイドブック)	74	7.4%
インターネット	430	43.0%
Facebook、Twitter、Instagram 等のソーシャルメディア	73	7.3%
その他	6	0.6%
特に参考としなかった	197	19.7%
全体	1,000	



Q 4 : 旅行の形態は次のうちどれですか。

- ◆ 「個人旅行」(84.6%) が圧倒的に多く、「団体旅行」(5.3%) や「パッケージツアー」(3.8%)、「フリープランパッケージ」(6.3%) も一定数存在する構成は前回調査と同様である。

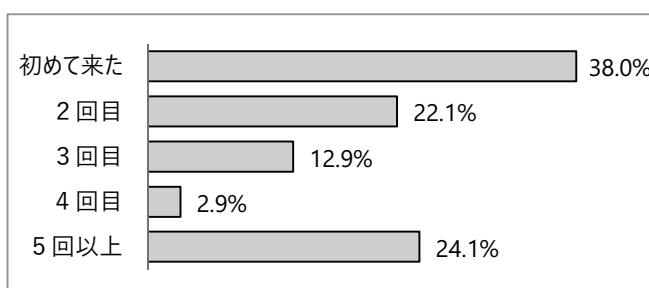
	回答数	割合
団体旅行（旅行会社やバス会社を活用した地域や職場、学校などの団体旅行）	53	5.3%
パッケージツアー（旅行会社やバス会社のツアーでスケジュールが決まっている）	38	3.8%
フリープランパッケージ（旅行会社やバス会社のツアーでスケジュールは自由に決めることができる）	63	6.3%
個人旅行（交通、宿泊などを自分で手配するもの）	846	84.6%
全体	1,000	100.0%



Q 5 : 直近の来訪は何度目の葛飾区への来訪ですか。

- ◆ 前回調査で最も多かった「5回以上」(24.1%) が減となり、「初めて来た」(38.0%) が最も多い結果となった。リピートの需要を引き続き保ちつつ、新たな層の誘客を図ることができていると見ることができる。
- ◆ 「5回以上」という回答者のほぼ6割が東京・神奈川・千葉・埼玉の4都県の居住者であったが、残りの4割のうち、1割が関東地方の各県、9割がそれ以外の地方からの来訪となっており、遠方からのリピート客の多さが特徴的である。

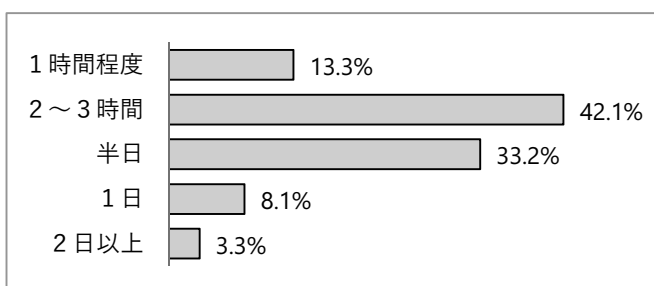
	回答数	割合
初めて来た	380	38.0%
2回目	221	22.1%
3回目	129	12.9%
4回目	29	2.9%
5回以上	241	24.1%
全体	1,000	100.0%



Q 6 : 直近の来訪での葛飾区内の滞在時間はどの位ですか。

- ◆ 「2～3時間」(42.1%) が最も多く、「半日」(33.2%)、「1時間程度」(13.3%) の順となった。
- ◆ 前回調査では「半日」が最も多かった。前回との比較では、全体として時間が短くなっている。

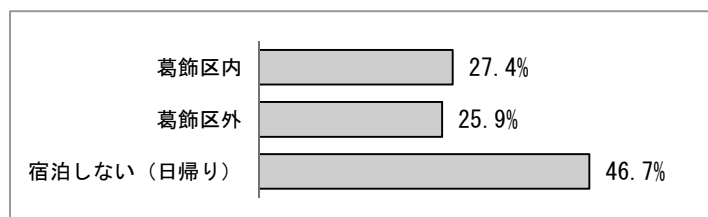
	回答数	割合
1時間程度	133	13.3%
2～3時間	421	42.1%
半日	332	33.2%
1日	81	8.1%
2日以上	33	3.3%
全体	1,000	100.0%



Q 7 : 直近の来訪ではどちらにお泊りになりましたか。

- ◆ 「宿泊しない(日帰り)」(46.7%) が約半数であった。
- ◆ 宿泊者の内、約半数が「葛飾区内」(27.4%) での宿泊であった。ただし、都外からの来訪者など、宿泊施設の所在地については厳密に区内・区外を意識していないことも想定されるため、若干割り引いて考えておく必要はあるが、区内での宿泊ニーズは高いと言える。

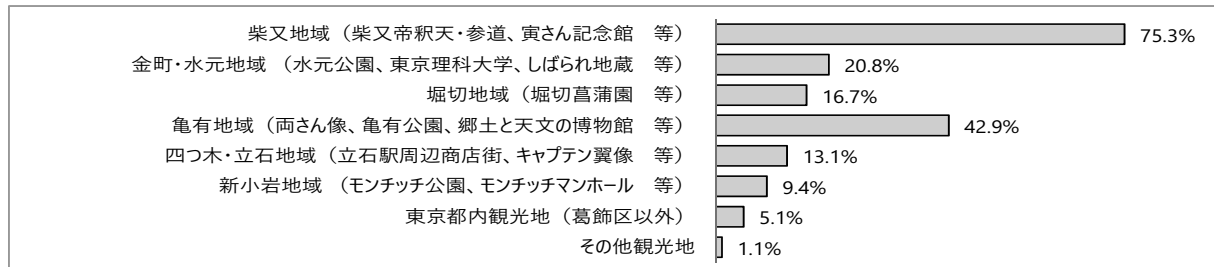
	回答数	割合
葛飾区内	274	27.4%
葛飾区外	259	25.9%
宿泊しない(日帰り)	467	46.7%
全体	1,000	100.0%



Q 8-1 : 直近の来訪で立ち寄った地域はどこですか。(複数回答可)

- ◆ 「柴又地域」(75.3%)、「亀有地域」(42.9%) の順となり、「柴又帝釈天」や「寅さん」、「こち亀」をはじめとする日本人観光客に知名度の高い観光スポットを有する両地域が高い比率となった。
- ◆ 都内でも有数の自然公園である「水元公園」を有する「金町・水元地域」(20.8%)、花菖蒲の名所である「堀切菖蒲園」を有する「堀切地域」(16.7%) がそれに次ぐ比率となったほか、事業が始まって間もない「モンチッチ」関連の観光スポットを有する「新小岩地域」(9.4%) が約1割の比率を獲得しており、今後の可能性を示す結果となった。

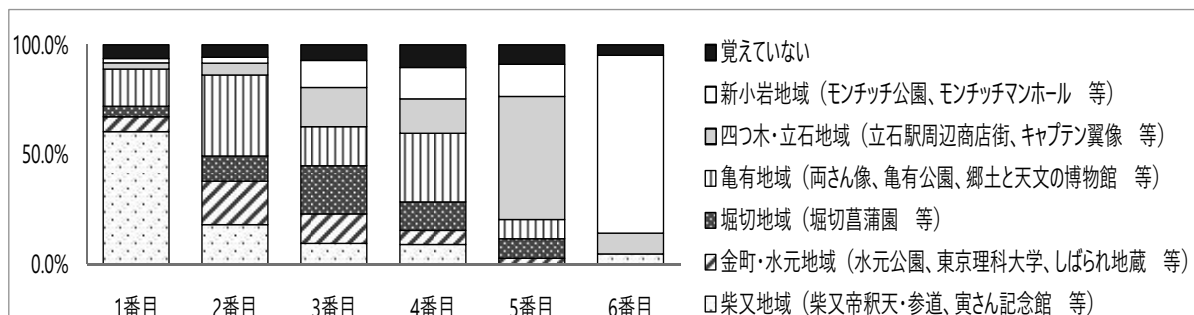
	回答数	割合
柴又地域（柴又帝釈天・参道、寅さん記念館 等）	753	75.3%
金町・水元地域（水元公園、東京理科大学、しばられ地蔵 等）	208	20.8%
堀切地域（堀切菖蒲園 等）	167	16.7%
亀有地域（両さん像、亀有公園、郷土と天文の博物館 等）	429	42.9%
四つ木・立石地域（立石駅周辺商店街、キャプテン翼像 等）	131	13.1%
新小岩地域（モンチッチ公園、モンチッチマンホール 等）	94	9.4%
東京都内観光地（葛飾区以外）	51	5.1%
その他観光地	11	1.1%
全体	1,000	



Q 8-2：直近の来訪で立ち寄った順番を記入ください。

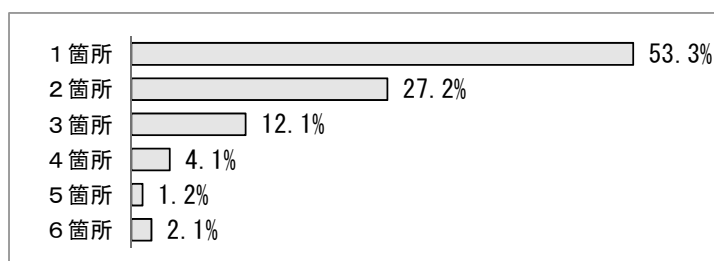
- ◆「柴又地域」は、最初の立ち寄り場所となっていることが圧倒的に多く、2箇所目、3箇所目の立ち寄り場所となることは極端に少ない。
- ◆「柴又地域」以外の各地域は、2箇所目以降に立ち寄っているケースが多くなっていることが特徴的である。

	1番目	割合	2番目	割合	3番目	割合	4番目	割合	5番目	割合	6番目	割合
柴又地域（柴又帝釈天・参道、寅さん記念館 等）	600	60.4%	84	18.2%	19	9.7%	7	9.1%	0	0.0%	1	4.8%
金町・水元地域（水元公園、東京理科大学、しばられ地蔵 等）	67	6.7%	91	19.7%	26	13.3%	5	6.5%	1	2.9%	0	0.0%
堀切地域（堀切菖蒲園 等）	48	4.8%	53	11.5%	43	21.9%	10	13.0%	3	8.8%	0	0.0%
亀有地域（両さん像、亀有公園、郷土と天文の博物館 等）	168	16.9%	170	36.9%	35	17.9%	24	31.2%	3	8.8%	0	0.0%
四つ木・立石地域（立石駅周辺商店街、キャプテン翼像 等）	29	2.9%	24	5.2%	35	17.9%	12	15.6%	19	55.9%	2	9.5%
新小岩地域（モンチッチ公園、モンチッチマンホール 等）	19	1.9%	13	2.8%	24	12.2%	11	14.3%	5	14.7%	17	81.0%
覚えていない	62	6.2%	26	5.6%	14	7.1%	8	10.4%	3	8.8%	1	4.8%
全体	993		461		196		77		34		21	



<立ち寄り箇所数の分布>

	回答数	割合
1箇所	496	53.3%
2箇所	253	27.2%
3箇所	113	12.1%
4箇所	38	4.1%
5箇所	11	1.2%
6箇所	20	2.1%
計	931	100.0%



<柴又地域からの立ち寄りルート>

1番目	立ち寄り地域	2番目		3番目		4番目		5番目		6番目	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
柴又地域	亀有地域	144	24.0%	26	4.3%	18	3.0%	2	0.3%	0	0.0%
	金町・水元地域	68	11.3%	13	2.2%	4	0.7%	0	0.0%	0	0.0%
	堀切地域	45	7.5%	32	5.3%	4	0.7%	1	0.2%	0	0.0%
	四つ木・立石地域	10	1.7%	22	3.7%	7	1.2%	13	2.2%	0	0.0%
	新小岩地域	5	0.8%	18	3.0%	8	1.3%	2	0.3%	10	1.7%
	東京都内観光地	5	0.8%	3	0.5%	2	0.3%	1	0.2%	0	0.0%
合計		277	46.2%	114	19.0%	43	7.2%	19	3.2%	10	1.7%

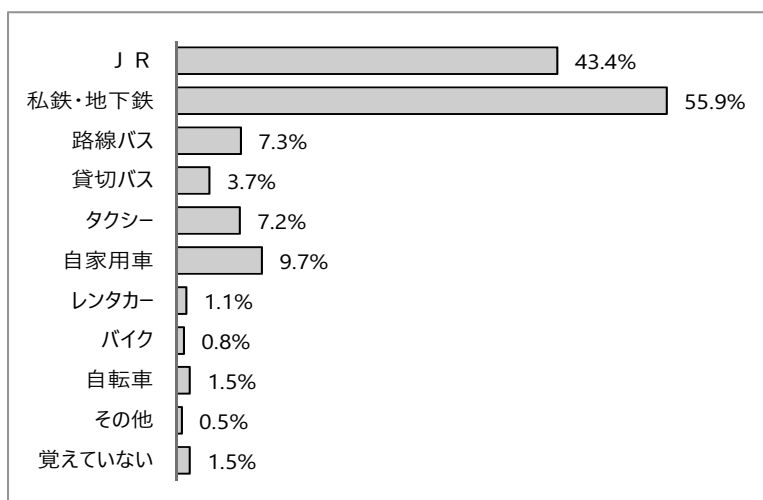
Q9：それぞれの地域[※]への交通手段は何ですか。（複数回答可）

- ◆葛飾区内の各地域とも「JR」「私鉄・地下鉄」を合わせた鉄道利用による訪問が7割以上となっている。中でも「柴又地域」はその比率が高くなっている。
- ◆「路線バス」の利用は、「柴又地域」以外の葛飾区内の各地域とも1割強となっている。
- ◆「自家用車」「レンタカー」の利用は、葛飾区内の各地域とも1割強となっている。

※ Q8における各地域を指す。

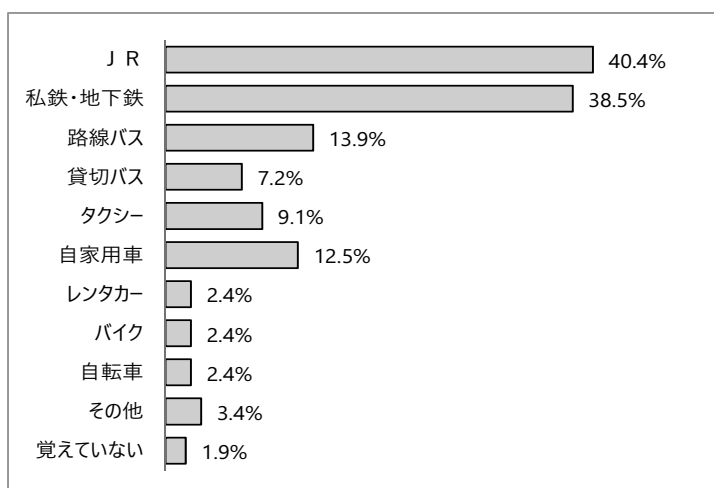
■柴又地域（柴又帝釈天・参道、寅さん記念館 等）

	回答数	割合
JR	327	43.4%
私鉄・地下鉄	421	55.9%
路線バス	55	7.3%
貸切バス	28	3.7%
タクシー	54	7.2%
自家用車	73	9.7%
レンタカー	8	1.1%
バイク	6	0.8%
自転車	11	1.5%
その他	4	0.5%
覚えていない	11	1.5%
全体	753	



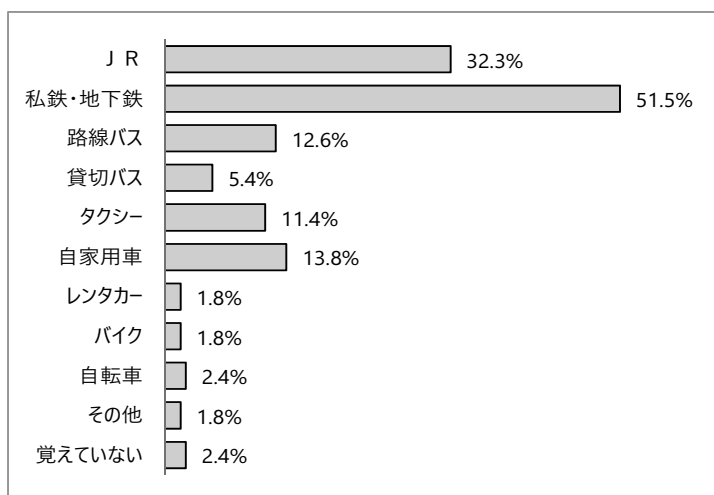
■金町・水元地域（水元公園、東京理科大学、しばられ地蔵 等）

	回答数	割合
J R	84	40.4%
私鉄・地下鉄	80	38.5%
路線バス	29	13.9%
貸切バス	15	7.2%
タクシー	19	9.1%
自家用車	26	12.5%
レンタカー	5	2.4%
バイク	5	2.4%
自転車	5	2.4%
その他	7	3.4%
覚えていない	4	1.9%
全体	208	



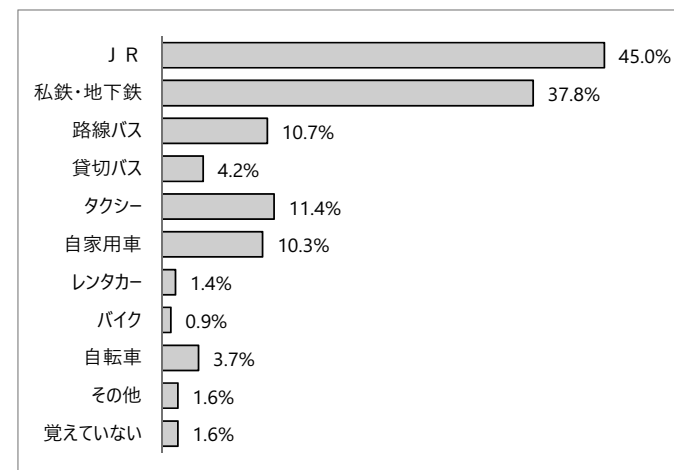
■堀切地域（堀切菖蒲園 等）

	回答数	割合
J R	54	32.3%
私鉄・地下鉄	86	51.5%
路線バス	21	12.6%
貸切バス	9	5.4%
タクシー	19	11.4%
自家用車	23	13.8%
レンタカー	3	1.8%
バイク	3	1.8%
自転車	4	2.4%
その他	3	1.8%
覚えていない	4	2.4%
全体	167	



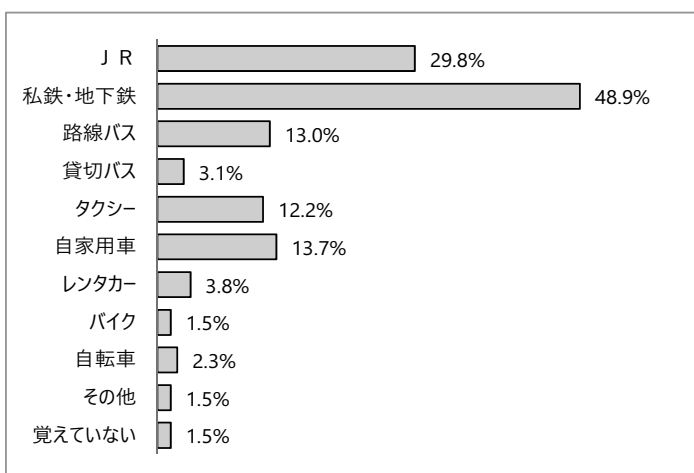
■亀有地域（両さん像、亀有公園、郷土と天文の博物館 等）

	回答数	割合
J R	193	45.0%
私鉄・地下鉄	162	37.8%
路線バス	46	10.7%
貸切バス	18	4.2%
タクシー	49	11.4%
自家用車	44	10.3%
レンタカー	6	1.4%
バイク	4	0.9%
自転車	16	3.7%
その他	7	1.6%
覚えていない	7	1.6%
全体	429	



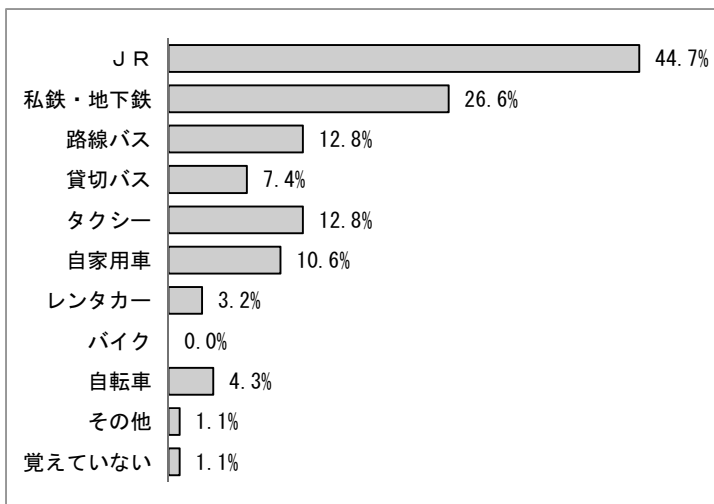
■四つ木・立石地域（立石駅周辺商店街、キャプテン翼像 等）

	回答数	割合
J R	39	29.8%
私鉄・地下鉄	64	48.9%
路線バス	17	13.0%
貸切バス	4	3.1%
タクシー	16	12.2%
自家用車	18	13.7%
レンタカー	5	3.8%
バイク	2	1.5%
自転車	3	2.3%
その他	2	1.5%
覚えていない	2	1.5%
全体	131	



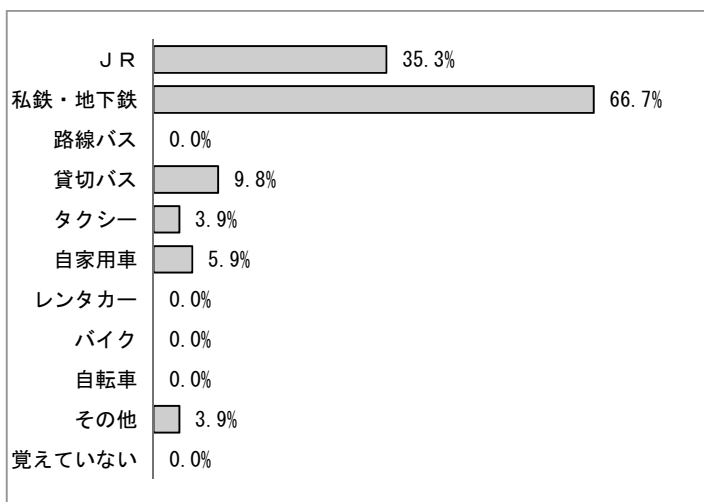
■新小岩地域（モンチッチ公園、モンチッチマンホール 等）

	回答数	割合
J R	42	44.7%
私鉄・地下鉄	25	26.6%
路線バス	12	12.8%
貸切バス	7	7.4%
タクシー	12	12.8%
自家用車	10	10.6%
レンタカー	3	3.2%
バイク	0	0.0%
自転車	4	4.3%
その他	1	1.1%
覚えていない	1	1.1%
全体	94	



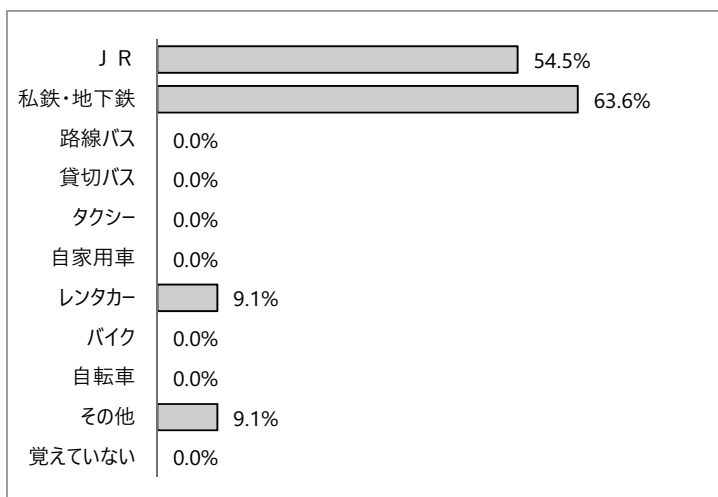
■東京都内観光地（葛飾区以外）

	回答数	割合
J R	18	35.3%
私鉄・地下鉄	34	66.7%
路線バス	0	0.0%
貸切バス	5	9.8%
タクシー	2	3.9%
自家用車	3	5.9%
レンタカー	0	0.0%
バイク	0	0.0%
自転車	0	0.0%
その他	2	3.9%
覚えていない	0	0.0%
全体	51	



■その他観光地

	回答数	割合
J R	6	54.5%
私鉄・地下鉄	7	63.6%
路線バス	0	0.0%
貸切バス	0	0.0%
タクシー	0	0.0%
自家用車	0	0.0%
レンタカー	1	9.1%
バイク	0	0.0%
自転車	0	0.0%
その他	1	9.1%
覚えていない	0	0.0%
全体	11	



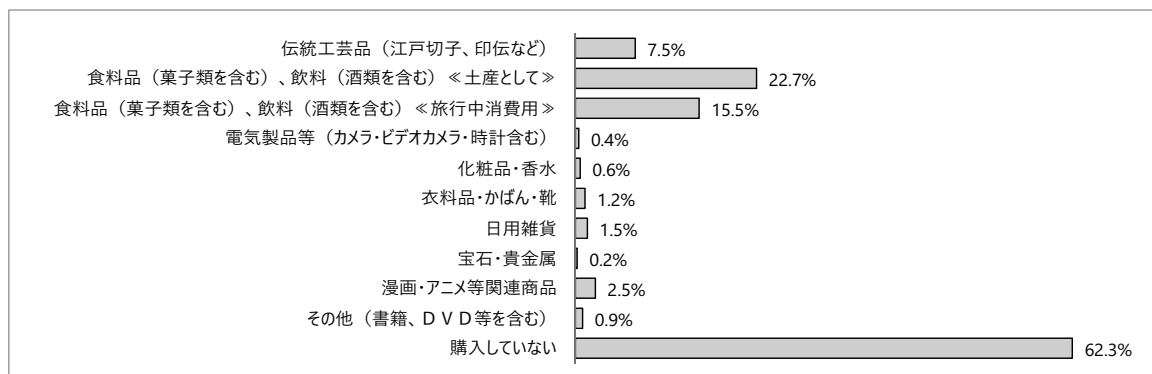
Q10：葛飾区滞在中に何をお買い求めになりましたか。以下からお選びください。また、具体的な品目をお答えください。（複数回答可）

◆購入品としては「食料品、飲料」が《土産として》《旅行中消費用》の順で最も多く、「伝統工芸品」がそれに続くという結果であった。

◆「購入していない」（62.3%）については、「ビジネス・会議」「スポーツ」目的の来訪のほか、ウォーキングやSNS*用の写真撮影等、旅行目的の多様化も一因と考えられる。

※ ソーシャル・ネットワーキング・サービス social networking service の略

	回答数	割合
伝統工芸品（江戸切子、印伝など）	75	7.5%
食料品（菓子類を含む）、飲料（酒類を含む）《土産として》	227	22.7%
食料品（菓子類を含む）、飲料（酒類を含む）《旅行中消費用》	155	15.5%
電気製品等（カメラ・ビデオカメラ・時計含む）	4	0.4%
化粧品・香水	6	0.6%
衣料品・かばん・靴	12	1.2%
日用雑貨	15	1.5%
宝石・貴金属	2	0.2%
漫画・アニメ等関連商品	25	2.5%
その他（書籍、DVD等を含む）	9	0.9%
購入していない	623	62.3%
全体計	1,000	



Q11：葛飾区内への来訪時に使った金額はいくらですか。

【一人あたりのおおよその金額をお教えてください】（単位：円）

- ◆日本人の国内旅行における一人1回当たり旅行単価は、日帰り旅行で15,602円（前年から156円の減）、宿泊旅行で49,234円（前年から1,268円の減）（観光庁「平成28年 旅行・観光消費動向調査」）となっており、本調査の結果（消費金額合計）は「日帰り旅行」の単価に近い数値となった。
- ◆平均で、「飲食費」としては概ね5千円程度、「土産・買物費」としては概ね4千円程度となっている。

	回答数	平均（円）	最頻値（円）	最小（円）	最大（円）
交通費	903	8,417.7	1,000	100	70,000
宿泊費	414	14,825.4	10,000	1,000	150,000
飲食費	774	4,838.7	1,000	100	55,000
土産・買物費	554	3,777.0	1,000	100	50,000
入場観覧費	380	1,751.8	1,000	100	18,000
その他	219	2,548.6	1,000	100	100,000
消費金額合計	(954)	21,803.4	1,000	150	210,000

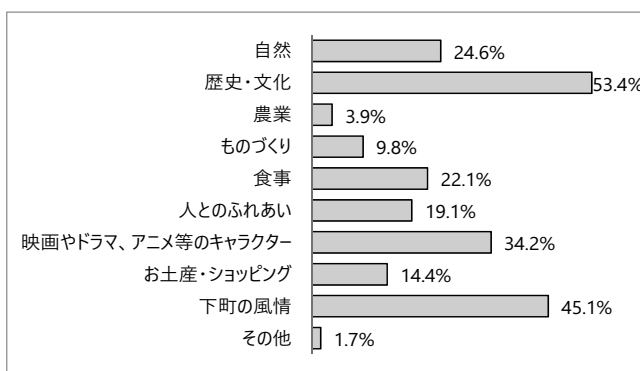
（ ） 回答の総数

《葛飾区の観光資源について》

Q12：来訪時に感じた葛飾区の魅力は何ですか。（複数回答可）

- ◆「歴史・文化」(53.4%)、「下町の風情」(45.1%)、「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」(34.2%)の3つが高い結果となったのは前回調査における葛飾区の観光イメージに対する回答と同様である。
- ◆前回調査における葛飾区の観光イメージは「下町の風情」が8割を超える高い比率であったが、本調査では葛飾区の魅力として「歴史・文化」が最も高くなった。柴又帝釈天の歴史的・文化的価値などがテレビ番組等で多く放映されたこともその一因と考えられる。
- ◆「自然」「人とのふれあい」「食事」なども前回調査よりも高い比率となった。

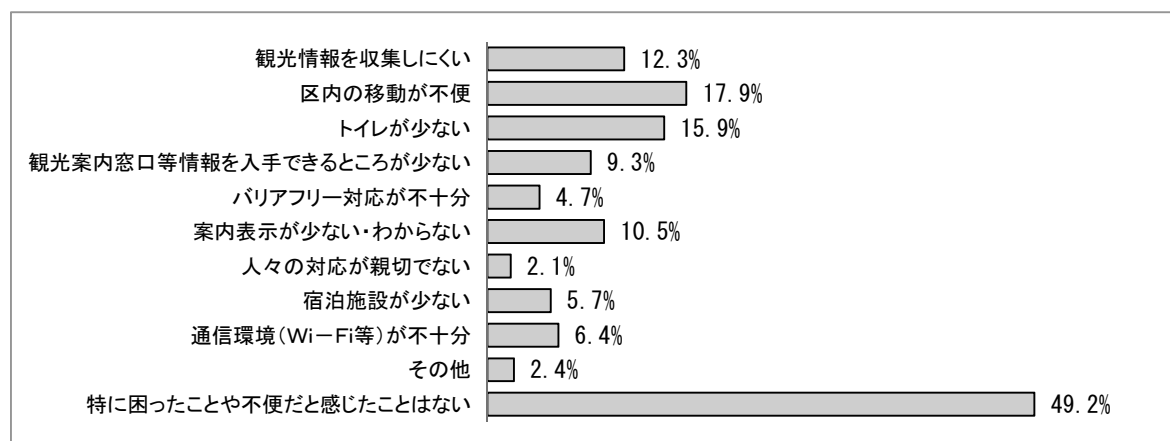
	回答数	割合
自然	246	24.6%
歴史・文化	534	53.4%
農業	39	3.9%
ものづくり	98	9.8%
食事	221	22.1%
人とのふれあい	191	19.1%
映画やドラマ、アニメ等のキャラクター	342	34.2%
お土産・ショッピング	144	14.4%
下町の風情	451	45.1%
その他	17	1.7%
全体	1,000	



Q13：来訪時に困ったことや不便だと感じたことはありましたか。(複数回答可)

- ◆約半数が「特に困ったことや不便と感じたことはない」との結果であった。
- ◆困ったこと・不便と感じたこととしては、「区内の移動が不便」(17.9%)、「トイレが少ない」(15.9%)といったハード面(インフラ)に関するものと、「観光情報を収集しにくい」(12.3%)といったソフト面に関するものが多く挙げられた。

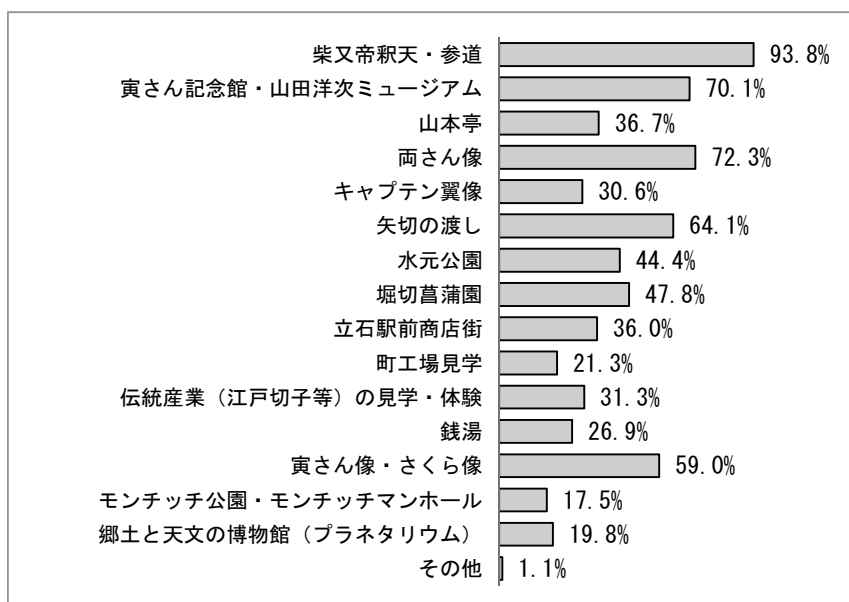
	回答数	割合
観光情報を収集しにくい	123	12.3%
区内の移動が不便	179	17.9%
トイレが少ない	159	15.9%
観光案内窓口等情報を入手できる場所が少ない	93	9.3%
バリアフリー対応が不十分	47	4.7%
案内表示が少ない・わからない	105	10.5%
人々の対応が親切でない	21	2.1%
宿泊施設が少ない	57	5.7%
通信環境(Wi-Fi等)が不十分	64	6.4%
その他	24	2.4%
特に困ったことや不便だと感じたことはない	492	49.2%
全体	1,000	



Q14-1：葛飾区の観光資源で知っているものはどれですか。（複数回答可）

- ◆ 「柴又帝釈天・参道」（93.8%）は前回調査より高くなり、10割に近い認知度となった。
- ◆ 「両さん像」（72.3%）は2番目に高く認知されており、どの年代からも平均して認知されている点が特徴である。
- ◆ 「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」（70.1%）及び「寅さん像・さくら像」（59.0%）の認知度は高いが、30代以下の若い世代の認知が比較的低い。また、同じ柴又地域にある「山本亭」（36.7%）の認知度が低く、前回調査からも微増にとどまっている。

	回答数	割合
柴又帝釈天・参道	938	93.8%
寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	701	70.1%
山本亭	367	36.7%
両さん像	723	72.3%
キャプテン翼像	306	30.6%
矢切の渡し	641	64.1%
水元公園	444	44.4%
堀切菖蒲園	478	47.8%
立石駅前商店街	360	36.0%
町工場見学	213	21.3%
伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	313	31.3%
銭湯	269	26.9%
寅さん像・さくら像	590	59.0%
モンチッチ公園・モンチッチマンホール	175	17.5%
郷土と天文の博物館（プラネタリウム）	198	19.8%
その他	11	1.1%
全体	1,000	



<属性クロス集計表>

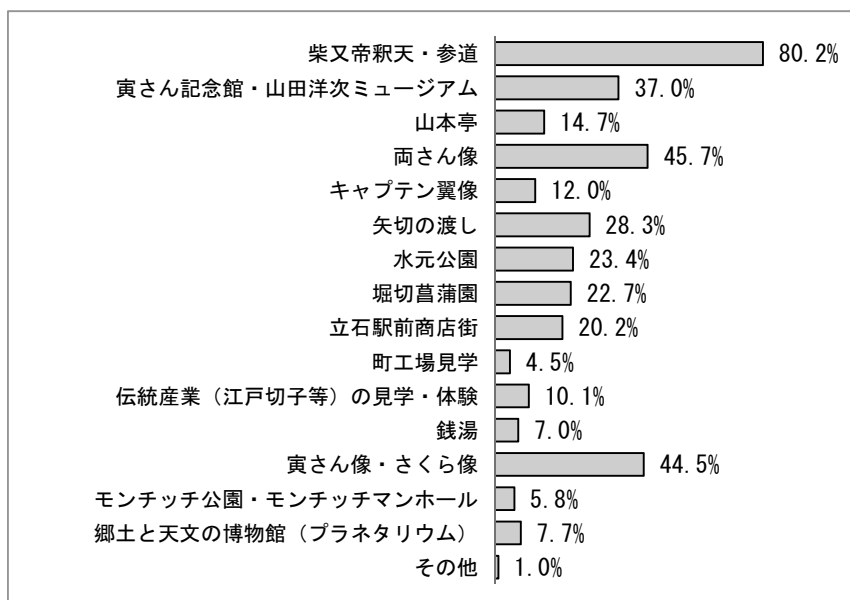
		認知度 _ 知っている															
()=n		柴又帝釈天・参道	寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	山本亭	両さん像	キャプテン翼像	矢切の渡し	水元公園	堀切菖蒲園	立石駅前商店街	町工場見学	伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	銭湯	寅さん像・さくら像	モンテッチ公園・モンテッチマンホール	郷土と天文の博物館（ウラネタリウム）	その他
全体	回答数	938	701	367	723	306	641	444	478	360	213	313	269	590	175	198	11
	比率（1,000）	93.8%	70.1%	36.7%	72.3%	30.6%	64.1%	44.4%	47.8%	36.0%	21.3%	31.3%	26.9%	59.0%	17.5%	19.8%	1.1%
性別	男性（731）	92.2%	71.4%	35.8%	73.3%	31.2%	64.6%	42.0%	45.1%	35.8%	22.2%	31.6%	27.9%	59.0%	17.8%	19.4%	1.2%
	女性（269）	91.1%	61.0%	36.1%	63.6%	27.1%	57.2%	44.6%	50.2%	33.1%	16.4%	27.9%	21.6%	53.9%	14.1%	18.2%	0.7%
年齢	16歳～19歳（6）	83.3%	50.0%	33.3%	66.7%	16.7%	50.0%	50.0%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%	50.0%	50.0%	16.7%	16.7%	-
	20歳代（70）	78.6%	52.9%	30.0%	64.3%	27.1%	38.6%	34.3%	27.1%	22.9%	20.0%	27.1%	28.6%	38.6%	20.0%	21.4%	1.4%
	30歳代（187）	88.2%	59.4%	34.2%	65.8%	32.1%	40.1%	36.4%	35.3%	32.1%	19.8%	21.9%	25.7%	36.9%	18.7%	21.9%	0.5%
	40歳代（259）	94.2%	71.0%	39.0%	75.3%	36.7%	62.9%	46.7%	51.7%	41.7%	23.6%	32.4%	30.1%	58.7%	20.1%	23.6%	0.8%
	50歳代（249）	98.4%	75.9%	34.9%	77.5%	27.7%	73.9%	46.2%	52.2%	40.2%	22.1%	34.5%	28.1%	65.9%	17.3%	19.7%	0.4%
	60歳代（172）	97.7%	76.2%	34.3%	71.5%	23.8%	80.2%	44.2%	51.2%	30.8%	16.9%	33.1%	21.5%	72.7%	13.4%	12.2%	3.5%
	70歳代（52）	98.1%	78.8%	55.8%	67.3%	34.6%	88.5%	63.5%	67.3%	36.5%	30.8%	44.2%	23.1%	88.5%	13.5%	19.2%	-
80歳代以上（5）	100.0%	100.0%	80.0%	100.0%	60.0%	100.0%	80.0%	80.0%	60.0%	-	40.0%	20.0%	80.0%	-	-	-	
居住地	北海道・東北（101）	97.0%	77.2%	30.7%	73.3%	29.7%	58.4%	33.7%	44.6%	34.7%	22.8%	37.6%	24.8%	60.4%	15.8%	18.8%	-
	東京都（193）	94.3%	68.9%	37.8%	69.4%	27.5%	64.8%	54.4%	59.6%	38.9%	15.0%	23.8%	25.4%	59.1%	15.5%	18.1%	1.0%
	その他関東（243）	93.8%	70.8%	38.3%	72.0%	30.5%	74.9%	61.3%	63.8%	42.8%	25.1%	30.5%	29.2%	63.0%	17.3%	22.6%	2.1%
	中部・北陸（158）	90.5%	67.1%	34.8%	72.8%	30.4%	62.0%	36.1%	36.1%	31.0%	18.4%	31.0%	27.2%	54.4%	19.0%	21.5%	1.3%
	関西（172）	94.8%	67.4%	39.0%	73.8%	35.5%	57.6%	33.1%	34.3%	33.1%	24.4%	37.2%	29.7%	58.1%	19.8%	20.3%	0.6%
中四国・九州（133）	93.2%	72.2%	36.1%	73.7%	30.1%	58.6%	31.6%	35.3%	30.1%	21.8%	31.6%	22.6%	57.1%	17.3%	15.0%	0.8%	

Q14-2：葛飾区の観光資源で行ったことがあるものはどれですか。（複数回答可）

◆ 来訪経験のある観光スポットは、概ね各スポットの認知度に沿った結果となっているが、「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」（37.0%）と「矢切の渡し」（28.3%）は認知度と大きく乖離している。この要因としては、「寅さん」を知らない若い世代などが柴又帝釈天や参道を主目的地として来訪し、両スポットまで足を伸ばさなかったことやツアーで訪れているため時間の制約があったなどが理由として考えられる。

◆ 「両さん像」は若い世代の訪問率の方が高くなっており、柴又地域とは異なる状況が見てとれる。

	回答数	割合
柴又帝釈天・参道	802	80.2%
寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	370	37.0%
山本亭	147	14.7%
両さん像	457	45.7%
キャプテン翼像	120	12.0%
矢切の渡し	283	28.3%
水元公園	234	23.4%
堀切菖蒲園	227	22.7%
立石駅前商店街	202	20.2%
町工場見学	45	4.5%
伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	101	10.1%
銭湯	70	7.0%
寅さん像・さくら像	445	44.5%
モンチッチ公園・モンチッチマンホール	58	5.8%
郷土と天文の博物館（プラネタリウム）	77	7.7%
その他	10	1.0%
全体	1,000	



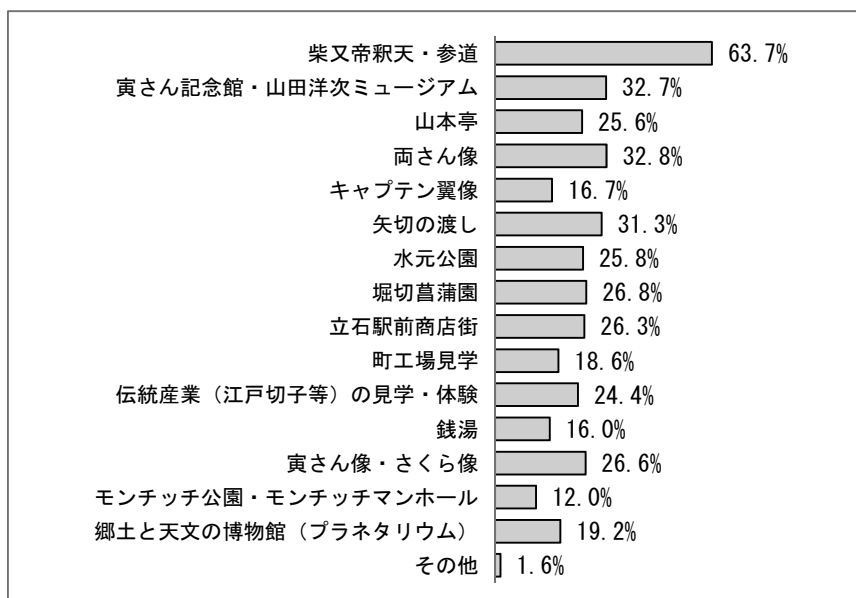
<属性クロス集計表>

訪問経験 _ 行ったことがある																	
()=n		柴又帝釈天・参道	寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	山本亭	両さん像	キャプテン翼像	矢切の渡し	水元公園	堀切菖蒲園	立石駅前商店街	町工場見学	伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	銭湯	寅さん像・さくら像	モンテッチ公園・モンテッチマンホール	郷土と天文の博物館（プラネタリウム）	その他
全体	回答数	802	370	147	457	120	283	234	227	202	45	101	70	445	58	77	10
	比率（1,000）	80.2%	37.0%	14.7%	45.7%	12.0%	28.3%	23.4%	22.7%	20.2%	4.5%	10.1%	7.0%	44.5%	5.8%	7.7%	1.0%
性別	男性（731）	78.8%	38.3%	14.2%	46.2%	11.8%	27.8%	21.1%	21.2%	20.2%	5.1%	10.5%	7.8%	44.9%	5.5%	7.9%	1.1%
	女性（269）	78.1%	30.1%	15.2%	39.8%	11.5%	26.8%	26.4%	24.2%	18.6%	2.6%	8.2%	4.5%	39.8%	5.6%	6.3%	0.7%
年齢	16歳～19歳（6）	66.7%	16.7%	-	50.0%	16.7%	-	33.3%	16.7%	-	-	-	-	16.7%	-	-	-
	20歳代（70）	60.0%	21.4%	8.6%	52.9%	8.6%	12.9%	15.7%	12.9%	10.0%	2.9%	5.7%	8.6%	18.6%	7.1%	11.4%	1.4%
	30歳代（187）	65.2%	25.7%	12.8%	50.3%	15.5%	16.0%	20.3%	18.2%	18.7%	5.9%	7.5%	7.5%	24.6%	8.6%	9.6%	0.5%
	40歳代（259）	81.1%	36.3%	13.9%	45.6%	15.8%	26.6%	21.2%	20.5%	22.8%	5.8%	11.6%	8.1%	41.7%	8.1%	10.0%	0.8%
	50歳代（249）	84.3%	36.9%	13.3%	44.2%	10.4%	31.3%	24.9%	25.7%	21.7%	3.2%	9.6%	6.0%	51.0%	4.4%	5.2%	0.4%
	60歳代（172）	93.6%	52.3%	19.8%	42.4%	7.0%	42.4%	25.6%	27.3%	20.3%	4.7%	12.2%	6.4%	65.1%	2.9%	5.2%	2.9%
	70歳代（52）	92.3%	53.8%	26.9%	36.5%	9.6%	40.4%	38.5%	32.7%	21.2%	1.9%	15.4%	5.8%	65.4%	-	5.8%	-
80歳代以上（5）	100.0%	40.0%	-	60.0%	-	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	-	-	-	80.0%	-	-	-
居住地	北海道・東北（101）	86.1%	40.6%	11.9%	46.5%	9.9%	26.7%	13.9%	13.9%	15.8%	4.0%	15.8%	6.9%	44.6%	5.0%	6.9%	-
	東京都（193）	79.8%	32.1%	16.1%	44.0%	9.8%	31.1%	35.8%	30.1%	20.2%	3.1%	5.7%	4.7%	45.1%	3.1%	6.2%	1.0%
	その他関東（243）	80.7%	35.8%	11.5%	43.6%	12.8%	32.9%	33.7%	30.9%	24.7%	5.3%	9.1%	7.8%	50.6%	5.8%	10.7%	2.1%
	中部・北陸（158）	75.3%	38.0%	15.8%	43.7%	10.1%	21.5%	16.5%	17.1%	18.4%	5.7%	13.9%	9.5%	39.2%	7.6%	8.9%	1.3%
	関西（172）	79.7%	37.2%	16.3%	48.3%	13.4%	25.0%	15.1%	18.0%	19.8%	5.2%	9.9%	8.1%	39.5%	8.1%	8.1%	0.6%
中四国・九州（133）	82.0%	42.1%	17.3%	50.4%	15.8%	29.3%	12.8%	16.5%	18.0%	3.0%	9.8%	4.5%	45.1%	5.3%	3.0%	-	

Q14-3：葛飾区の観光資源で行ってみたい（また行きたい）のはどれですか。（複数回答）

- ◆「柴又帝釈天・参道」（63.7%）の来訪（ほとんどが再訪と考えられる）意欲の高さが突出している。訪問時における満足度の高さがうかがえる結果となった。
- ◆来訪経験の多い「柴又帝釈天・参道」「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」「両さん像」「寅さん像・さくら像」を除く全てのスポットにおいて、「行ってみたい」が「行ったことがある」を超える比率となった。中でも、この超過している幅が大きいのが「伝統産業の見学・体験」「町工場見学」であり、潜在的なニーズの高さがうかがえる結果となった。

	回答数	割合
柴又帝釈天・参道	568	63.7%
寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	291	32.7%
山本亭	228	25.6%
両さん像	292	32.8%
キャプテン翼像	149	16.7%
矢切の渡し	279	31.3%
水元公園	230	25.8%
堀切菖蒲園	239	26.8%
立石駅前商店街	234	26.3%
町工場見学	166	18.6%
伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	217	24.4%
銭湯	143	16.0%
寅さん像・さくら像	237	26.6%
モンテッチ公園・モンテッチマンホール	107	12.0%
郷土と天文の博物館（プラネタリウム）	171	19.2%
その他	14	1.6%
全体	891	



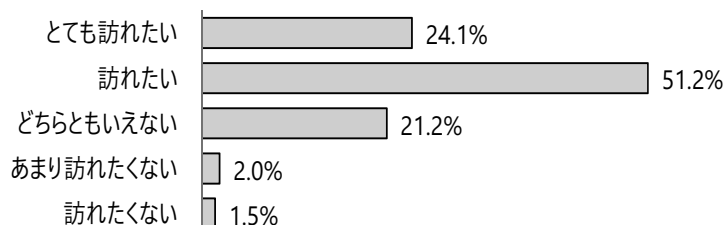
<属性クロス集計表>

訪問意思 _ 行ってみたい																	
()=n		柴又帝釈天・参道	寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	山本亭	両さん像	キャプテン翼像	矢切の渡し	水元公園	堀切菖蒲園	立石駅前商店街	町工場見学	伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	銭湯	寅さん像・さくら像	モンテッチ公園・モンテッチマンホール	郷土と天文の博物館（ウラネタリウム）	その他
全体	回答数	568	291	228	292	149	279	230	239	234	166	217	143	237	107	171	14
	比率（1,000）	63.7%	32.7%	25.6%	32.8%	16.7%	31.3%	25.8%	26.8%	26.3%	18.6%	24.4%	16.0%	26.6%	12.0%	19.2%	1.6%
性別	男性（731）	55.3%	30.4%	20.9%	29.7%	14.6%	26.8%	20.0%	20.5%	22.8%	17.5%	21.5%	16.0%	23.5%	10.0%	17.4%	1.4%
	女性（269）	55.4%	23.0%	26.0%	25.7%	13.4%	27.1%	28.3%	30.1%	22.3%	12.3%	19.3%	8.6%	21.2%	10.4%	14.5%	1.5%
年齢	16歳～19歳（6）	16.7%	-	16.7%	16.7%	-	-	33.3%	33.3%	16.7%	-	-	-	16.7%	16.7%	16.7%	-
	20歳代（70）	57.1%	20.0%	15.7%	32.9%	11.4%	21.4%	14.3%	11.4%	12.9%	8.6%	14.3%	11.4%	20.0%	7.1%	15.7%	1.4%
	30歳代（187）	57.2%	25.1%	15.5%	33.2%	16.6%	17.6%	20.9%	18.2%	19.8%	12.3%	14.4%	13.4%	13.4%	11.8%	16.0%	1.1%
	40歳代（259）	55.6%	27.8%	26.3%	33.6%	19.3%	28.2%	23.6%	22.8%	25.1%	13.5%	18.9%	13.9%	21.6%	12.0%	18.5%	1.2%
	50歳代（249）	59.8%	31.3%	21.3%	30.1%	12.9%	30.5%	21.3%	26.5%	24.9%	16.5%	24.1%	12.0%	26.9%	9.6%	15.7%	1.2%
	60歳代（172）	54.7%	34.3%	28.5%	20.3%	11.6%	33.1%	27.3%	28.5%	25.6%	24.4%	30.8%	18.6%	29.7%	11.0%	18.6%	2.9%
	70歳代（52）	57.7%	34.6%	28.8%	17.3%	13.5%	44.2%	28.8%	34.6%	26.9%	30.8%	30.8%	19.2%	40.4%	9.6%	15.4%	-
80歳代以上（5）	60.0%	60.0%	40.0%	-	20.0%	40.0%	60.0%	60.0%	60.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	-	40.0%	-
居住地	北海道・東北（101）	67.3%	35.6%	22.8%	37.6%	16.8%	30.7%	21.8%	27.7%	21.8%	18.8%	24.8%	14.9%	34.7%	14.9%	14.9%	1.0%
	東京都（193）	61.1%	26.9%	23.3%	26.4%	13.5%	23.3%	25.4%	24.9%	20.2%	13.5%	15.5%	10.9%	21.8%	8.3%	13.5%	1.6%
	その他関東（243）	53.9%	25.9%	18.5%	19.8%	10.3%	24.3%	26.3%	24.3%	25.9%	16.0%	19.3%	12.3%	21.4%	9.1%	17.3%	2.9%
	中部・北陸（158）	57.0%	29.7%	25.9%	32.3%	17.1%	32.9%	22.2%	24.7%	29.1%	22.8%	23.4%	21.5%	22.8%	16.5%	27.2%	0.6%
	関西（172）	52.3%	31.4%	25.0%	30.8%	14.5%	32.6%	18.6%	22.7%	18.0%	14.5%	24.4%	14.0%	20.9%	7.6%	14.5%	1.2%
中四国・九州（133）	53.4%	29.3%	23.3%	38.3%	21.8%	27.1%	21.1%	19.5%	24.8%	15.8%	27.1%	14.3%	27.1%	11.3%	15.0%	-	

Q15：今後、葛飾区を来訪（再訪）したいと思いますか。

◆ 「とても訪れたい」「訪れたい」が 75.3%という結果であった。

	回答数	割合
とても訪れたい	241	24.1%
訪れたい	512	51.2%
どちらともいえない	212	21.2%
あまり訪れたくない	20	2.0%
訪れたくない	15	1.5%
全体	1,000	100.0%



<属性クロス集計表>

		訪問（再訪）意思				
()=n		とても訪れたい	訪れたい	どちらともいえない	あまり訪れたくない	訪れたくない
全体	回答数	241	512	212	20	15
	比率（1,000）	24.1%	51.2%	21.2%	2.0%	1.5%
性別	男性（731）	24.6%	51.4%	20.8%	1.9%	1.2%
	女性（269）	22.7%	50.6%	22.3%	2.2%	2.2%
年齢	16歳～19歳（6）	16.7%	83.3%	-	-	-
	20歳代（70）	37.1%	37.1%	21.4%	2.9%	1.4%
	30歳代（187）	27.8%	49.2%	17.1%	3.2%	2.7%
	40歳代（259）	30.1%	46.3%	20.8%	1.5%	1.2%
	50歳代（249）	20.5%	54.2%	22.5%	1.6%	1.2%
	60歳代（172）	15.1%	57.6%	24.4%	1.7%	1.2%
	70歳代（52）	11.5%	59.6%	25.0%	1.9%	1.9%
	80歳代以上（5）	20.0%	80.0%	-	-	-
居住地	北海道・東北（101）	30.7%	51.5%	15.8%	1.0%	1.0%
	東京都（193）	22.8%	53.4%	20.2%	2.6%	1.0%
	その他関東（243）	20.6%	53.9%	21.0%	3.3%	1.2%
	中部・北陸（158）	27.2%	48.7%	20.3%	1.9%	1.9%
	関西（172）	25.0%	48.3%	23.3%	1.2%	2.3%
	中四国・九州（133）	22.6%	49.6%	25.6%	0.8%	1.5%

(4) まとめ

■見えてくる葛飾区観光のスタイル

今回の調査結果から、葛飾区観光の標準的なスタイルが明らかになってきた。宿泊を伴わず、散策をメインとした、ひとり又は夫婦を中心とする少人数での、自ら交通などの手配をする個人旅行の形態による観光という姿である。

来訪者の年齢層や居住地は、観光スポットによる特徴が見られる。例えば、柴又地域の中でも「柴又帝釈天・参道」は幅広い年齢層が訪れているが、「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」や「矢切の渡し」は比較的年齢層が高くなっている。また、「両さん像」を中心とする亀有は幅広い年齢層から認知されているが実施に訪れているのは若い世代が多くなっている。

居住地については、「柴又帝釈天・参道」をはじめとする柴又地域には全国から広く訪れており、「両さん像」を中心とする亀有地域も同様である。一方で、「水元公園」や「堀切菖蒲園」は東京都内を含む関東地方からの来訪が多くなっている。

来訪の目的としては、柴又帝釈天題経寺、花菖蒲の美しい堀切菖蒲園や水元公園などの「名所・旧跡巡り」、「グルメ・食べ歩き」、「街歩き・ウォーキング」、「買い物」のほか、映画「男はつらいよ」や「こちら葛飾区亀有公園前派出所」、「キャプテン翼」といった「漫画・アニメキャラクター巡り」、「ロケ地巡り」などが葛飾区の観光の特徴となっている。

■区内の周遊へと繋げていくために

葛飾区観光の起点として最も多かったのが「柴又地域」であり、2箇所目や3箇所目の立ち寄り場所となることは極端に少なくなっている。一方で「柴又地域」以外の各地域は、2箇所目以降の立ち寄り場所となっているケースが多く、葛飾区内での周遊ルートが見てとれる。「柴又帝釈天・参道」や「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」、「矢切の渡し」などの観光スポットを擁し、全国的に知名度の高い「柴又地域」を目指して各地から多くの観光客が訪れていることがうかがえる結果である。

しかし、「柴又地域」を訪れた来訪者の内の46.2%が他の地域を周遊しているという結果ではあるが、裏を返すと約半分は柴又地域のみで観光を終了しているということになる。単純な比較はできないが、葛飾区内の滞在時間は前回調査と比べると短くなっていると考えられ、柴又を訪れた少しでも多くの観光客を区内の周遊へと繋げていくことができるかどうか、今後の重要な課題となる。

ここにおいて、「亀有地域」が途中の立ち寄り場所として高い割合となっていたことが注目される。葛飾区観光における周遊の“中継地”となっていることがうかがえ、周遊を促すヒントになるかもしれない。

また、「堀切地域」を訪れた観光客については65%と高い割合で他の地域への周遊が認められた。これは、葛飾菖蒲まつりの時期に運行されている堀切菖蒲園・水元公園・柴又等を結ぶ循環バスの利用によるものと推察され、期間限定ではあるが、区内の周遊に繋がる効果的な施策となっている。

本調査においては、葛飾区来訪者の葛飾区内や東京都内での宿泊ニーズも認められた。平成29年3月に柴又に開設されたSHIBAMATA FU-TEN BED & LOCALをはじめとする宿泊施設等との連携等、滞在時間の延長に向けた策を検討していく必要がある。

今後を考えると、国の重要文化的景観選定の答申を受けた「柴又地域」の話題性を好機に、近代和風建築と書院庭園を有する「山本亭」をはじめ、「矢切の渡し」や「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」など、文化的景観エリアの散策なども新たな視点による柴又地域内での滞在時間延長のひとつの方策として期待できる。

さらに「柴又地域」以外にも、区内には、歴史的風土が楽しめる「金町・水元地域」「堀切地域」といった地域もあり、葛飾区の魅力として挙げられた「歴史・文化」を前面に押し出した観光PRも方策となり得る。そして、漫画などのキャラクターに出会える「亀有地域」「四つ木・立石地域」「新小岩地域」、「食」に関する観光資源なども組み合わせながら、葛飾区内の周遊や滞在時間の延長に繋げていきたい。

■情報発信の強化

「インターネット」が観光客にとっての最も大きな情報源となっており、中でも、「Facebook、Twitter、Instagram 等のソーシャルメディア」（SNS）の活用が拡大傾向にある。時代の流れを捉えながら、最適な情報発信の媒体を選択していく柔軟性が今後は一層求められていく。

また、観光ガイドブックやパンフレット、雑誌、新聞等も情報源としての必要性は依然として高いことが分かった。年齢の高い層の来訪が多い「柴又地域」など、これら媒体による情報発信の重要性は高く、引き続き内容の充実を図っていかねばならない。

加えて、情報収集の媒体として「テレビ」が高い数値となったことは注目に値する。映画やドラマ、旅番組など、テレビの影響は年齢層を問わず極めて大きいと言えるが、こうした番組誘致は一朝一夕に成し得るものではない。本調査において「テレビ」が高い率となったのは、ここ数年、公共施設も含め、区内各地でロケの受け入れ・支援を行ってきた葛飾区のシティーセールスの取り組みやフィルムコミッション事業の成果と考えることができる。今後においても、映画やドラマ、テレビ番組などのロケの積極的な誘致・支援活動が重要であるとする。

2. インターネット調査（葛飾区訪問未経験者）

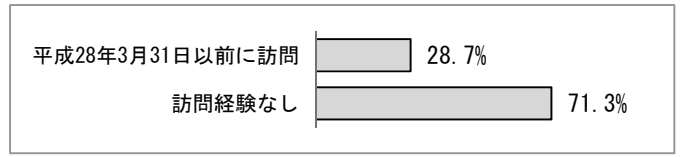
（1）調査概要

	概 要
調査方法	インターネットリサーチ
実施期間	平成 29 年 9 月 13 日～平成 29 年 9 月 22 日
調査対象	葛飾区を除く東京都在住、または東京以外の道府県に在住し、平成 28 年 4 月 1 日以降には葛飾区内の観光地を訪れていない 16 歳以上の男女を対象とした。
回収方法	<ul style="list-style-type: none">・有効回答数 300 票を目標に、WEBにてアンケートを実施し、スクリーニング後の有効回答票を回収した。・スクリーニング時に区内 15 箇所の観光スポットの写真を例示した。
回収数	300 票
留意点	<ul style="list-style-type: none">・比率は全て百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が 100%にならないことがある。・複数回答においては、%の合計が 100%を超える場合がある。・グラフ及び集計表における選択肢の文章は、一部省略している場合がある。

(2) 回答者属性

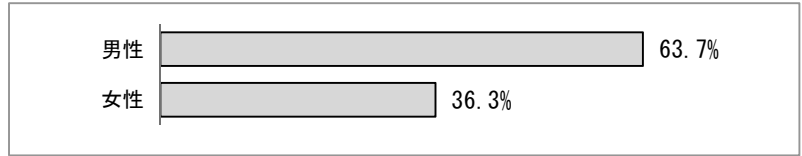
[0] 葛飾訪問経験

	回答数	割合
平成28年3月31日以前に訪問	86	28.7%
訪問経験なし	214	71.3%
全体	300	100.0%



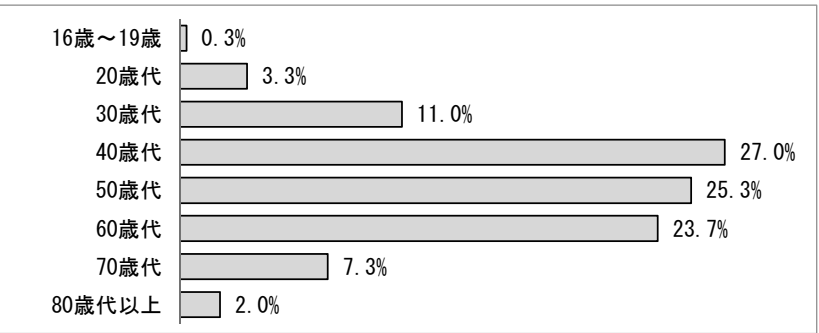
[1] 性別

	回答数	割合
男性	191	63.7%
女性	109	36.3%
全体	300	100.0%



[2] 年代

	回答数	割合
16歳～19歳	1	0.3%
20歳代	10	3.3%
30歳代	33	11.0%
40歳代	81	27.0%
50歳代	76	25.3%
60歳代	71	23.7%
70歳代	22	7.3%
80歳代以上	6	2.0%
全体	300	100.0%



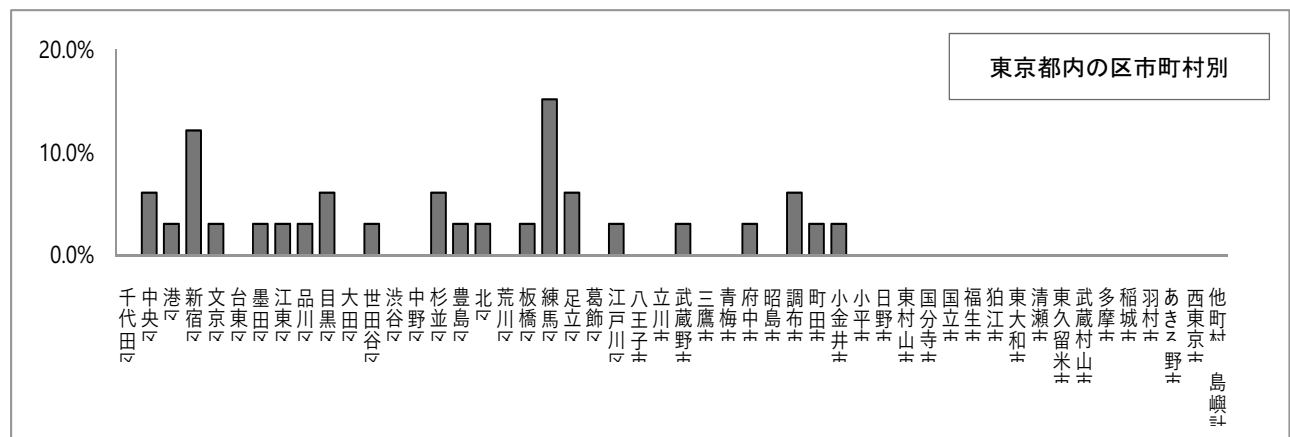
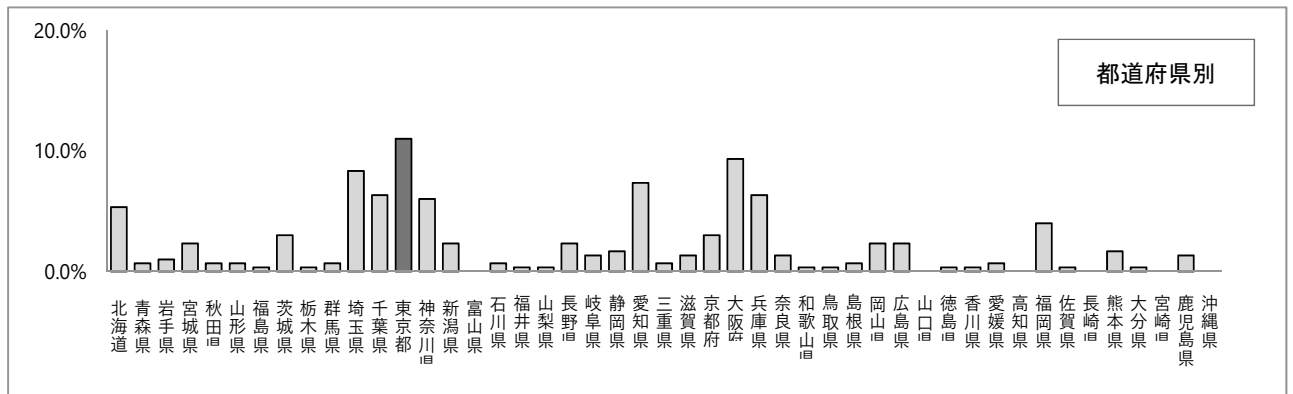
[3-1] 居住地（都道府県別）

	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
北海道	16	5.3%	石川県	2	0.7%	岡山県	7	2.3%
青森県	2	0.7%	福井県	1	0.3%	広島県	7	2.3%
岩手県	3	1.0%	山梨県	1	0.3%	山口県	0	0.0%
宮城県	7	2.3%	長野県	7	2.3%	徳島県	1	0.3%
秋田県	2	0.7%	岐阜県	4	1.3%	香川県	1	0.3%
山形県	2	0.7%	静岡県	5	1.7%	愛媛県	2	0.7%
福島県	1	0.3%	愛知県	22	7.3%	高知県	0	0.0%
茨城県	9	3.0%	三重県	2	0.7%	福岡県	12	4.0%
栃木県	1	0.3%	滋賀県	4	1.3%	佐賀県	1	0.3%
群馬県	2	0.7%	京都府	9	3.0%	長崎県	0	0.0%
埼玉県	25	8.3%	大阪府	28	9.3%	熊本県	5	1.7%
千葉県	19	6.3%	兵庫県	19	6.3%	大分県	1	0.3%
東京都	33	11.0%	奈良県	4	1.3%	宮崎県	0	0.0%
神奈川県	18	6.0%	和歌山県	1	0.3%	鹿児島県	4	1.3%
新潟県	7	2.3%	鳥取県	1	0.3%	沖縄県	0	0.0%
富山県	0	0.0%	島根県	2	0.7%	全体	300	100.0%

[3-2] 居住地（東京都内の区市町村別）

	回答数	割合		回答数	割合		回答数	割合
千代田区	0	0.0%	荒川区	0	0.0%	日野市	0	0.0%
中央区	2	6.1%	板橋区	1	3.0%	東村山市	0	0.0%
港区	1	3.0%	練馬区	5	15.2%	国分寺市	0	0.0%
新宿区	4	12.1%	足立区	2	6.1%	国立市	0	0.0%
文京区	1	3.0%	葛飾区	0	0.0%	福生市	0	0.0%
台東区	0	0.0%	江戸川区	1	3.0%	狛江市	0	0.0%
墨田区	1	3.0%	八王子市	0	0.0%	東大和市	0	0.0%
江東区	1	3.0%	立川市	0	0.0%	清瀬市	0	0.0%
品川区	1	3.0%	武蔵野市	1	3.0%	東久留米市	0	0.0%
目黒区	2	6.1%	三鷹市	0	0.0%	武蔵村山市	0	0.0%
大田区	0	0.0%	青梅市	0	0.0%	多摩市	0	0.0%
世田谷区	1	3.0%	府中市	1	3.0%	稲城市	0	0.0%
渋谷区	0	0.0%	昭島市	0	0.0%	羽村市	0	0.0%
中野区	0	0.0%	調布市	2	6.1%	あきる野市	0	0.0%
杉並区	2	6.1%	町田市	1	3.0%	西東京市	0	0.0%
豊島区	1	3.0%	小金井市	1	3.0%	他町村、島嶼計	0	0.0%
北区	1	3.0%	小平市	0	0.0%	全体	33	100.0%

[3-3] 居住地グラフ（都道府県別及び東京都内の区市町村別）



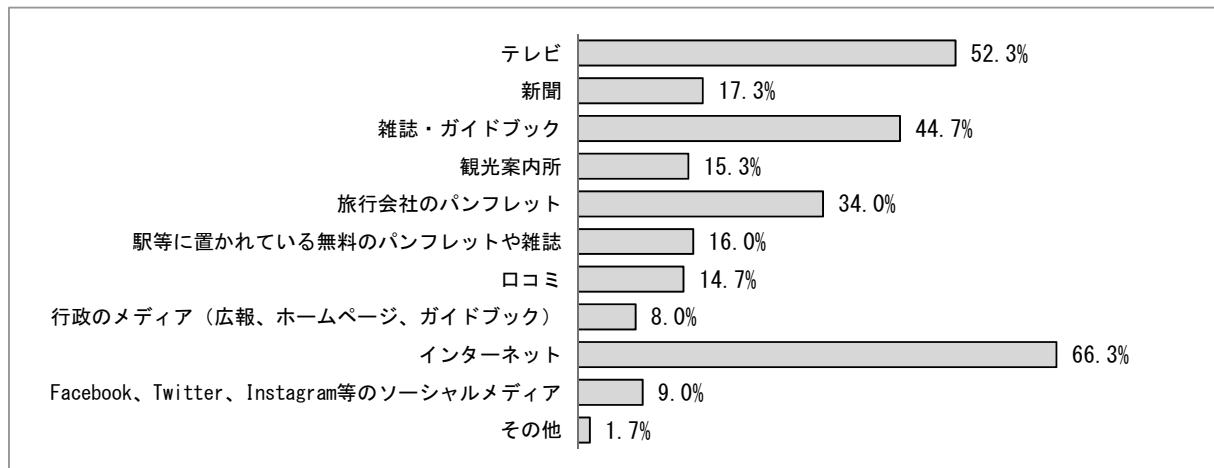
(3) 回答結果

《葛飾区の観光資源について》

Q 1 : 国内旅行を計画する時は、観光情報を何から得ますか。(複数回答可)

- ◆ 「インターネット」(66.3%) が最も多く、「Facebook、Twitter、Inatagram等のソーシャルメディア」(9.0%) を含めて、インターネットを介しての情報収集が75%であり、主たる媒体になっていると考えることができる。
- ◆ 「テレビ」(52.3%) がこれに次ぐ情報源となっており、その影響力の強さがうかがえる。
- ◆ 「雑誌・ガイドブック」(44.7%)、「旅行会社のパンフレット」(34.0%)、「新聞」(17.3%)、「駅等に置かれている無料のパンフレットや雑誌」(16.0%)といった紙媒体も情報収集メディアとしての利用は根強く、「観光案内所」(15.3%)を含め、その効果的な活用が重要である。

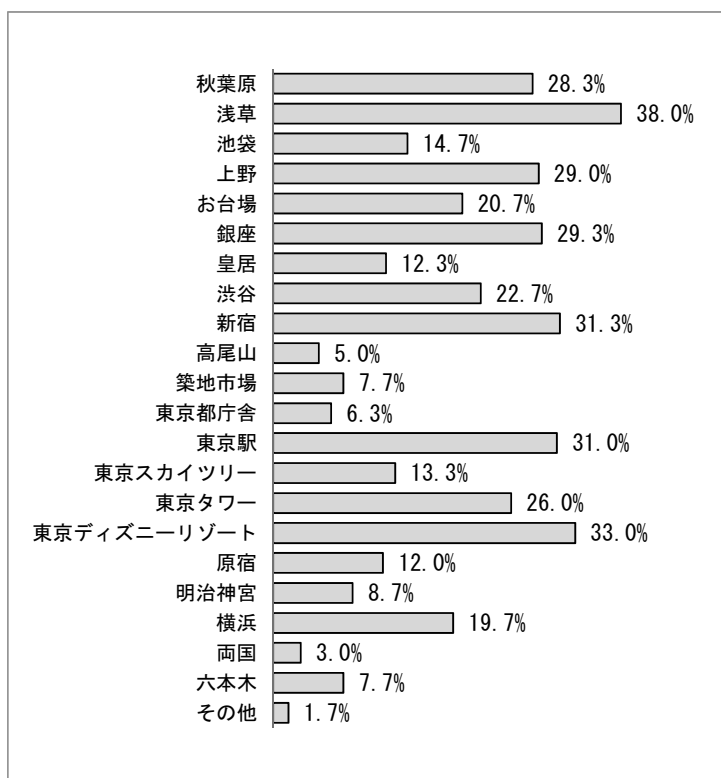
	回答数	割合
テレビ	157	52.3%
新聞	52	17.3%
雑誌・ガイドブック	134	44.7%
観光案内所	46	15.3%
旅行会社のパンフレット	102	34.0%
駅等に置かれている無料のパンフレットや雑誌	48	16.0%
口コミ	44	14.7%
行政のメディア(広報、ホームページ、ガイドブック)	24	8.0%
インターネット	199	66.3%
Facebook、Twitter、Instagram等のソーシャルメディア	27	9.0%
その他	5	1.7%
全体	300	



Q 2 : 東京とその周辺の観光スポットで行ったことがあるところを、訪問回数の多い物から5つまで選んでお答えください。(複数回答可)

◆街としては、「浅草」(38.0%)を筆頭に、「新宿」(31.3%)、「銀座」(29.3%)、「上野」(29.0%)、「秋葉原」(28.3%)が上位となった。施設としては、「東京ディズニーリゾート」(33.0%)を筆頭に、「東京駅」(31.0%)、「東京タワー」(26.0%)が上位となった。

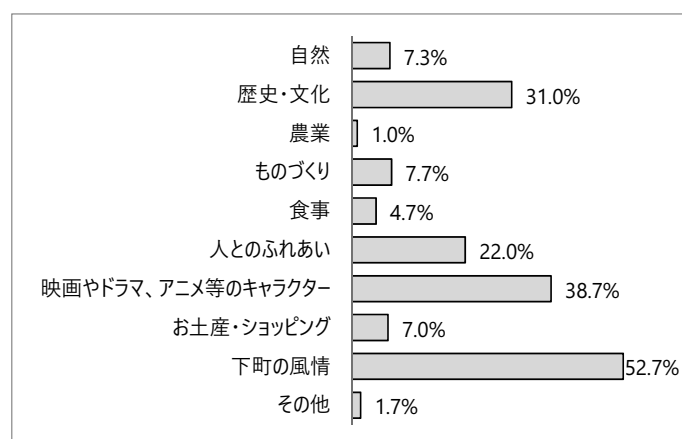
	回答数	割合
秋葉原	85	28.3%
浅草	114	38.0%
池袋	44	14.7%
上野	87	29.0%
お台場	62	20.7%
銀座	88	29.3%
皇居	37	12.3%
渋谷	68	22.7%
新宿	94	31.3%
高尾山	15	5.0%
築地市場	23	7.7%
東京都庁舎	19	6.3%
東京駅	93	31.0%
東京スカイツリー	40	13.3%
東京タワー	78	26.0%
東京ディズニーリゾート	99	33.0%
原宿	36	12.0%
明治神宮	26	8.7%
横浜	59	19.7%
両国	9	3.0%
六本木	23	7.7%
その他	5	1.7%
全体	300	



Q3：葛飾区の観光イメージで近いものは何ですか。（複数回答可）

- ◆ 「下町の風情」(52.7%) が最も多く、4 番目として挙げられた「人とのふれあい」(22.0%) を含め、下町風情や下町人情といったイメージが強いことがうかがえる。
- ◆ 「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」(38.7%)、「歴史・文化」(31.0%) がそれに次ぐイメージとなっている。

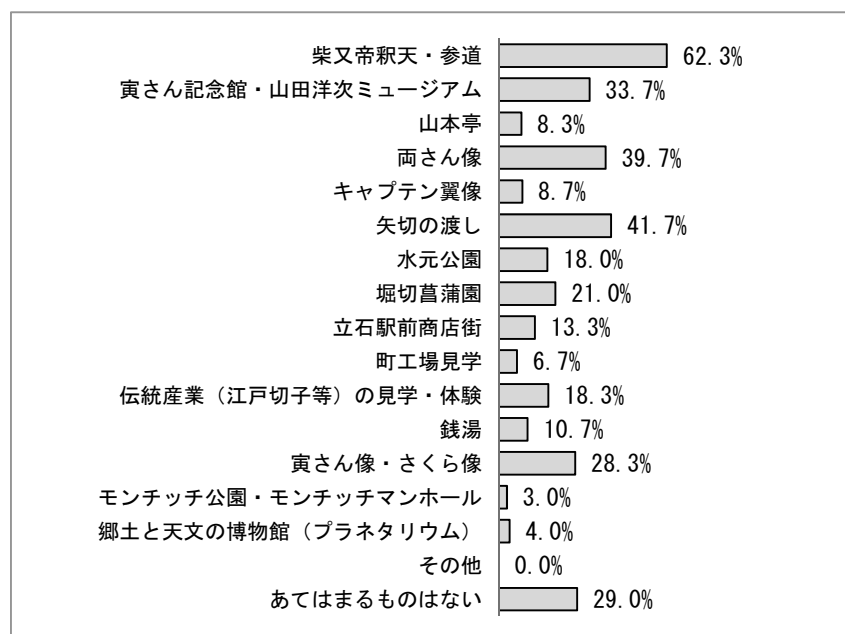
	回答数	割合
自然	22	7.3%
歴史・文化	93	31.0%
農業	3	1.0%
ものづくり	23	7.7%
食事	14	4.7%
人とのふれあい	66	22.0%
映画やドラマ、アニメ等のキャラクター	116	38.7%
お土産・ショッピング	21	7.0%
下町の風情	158	52.7%
その他	5	1.7%
全体	300	



Q 4-1 : 葛飾区の観光資源で知っているものはどれですか。(複数回答可)

- ◆ 「柴又帝釈天・参道」(62.3%)の認知度が最も高く、次いで「矢切の渡し」(41.7%)の順となっている。ただし、いずれも年齢の低い層で相対的に認知度が下がる。
- ◆ 3番目の認知度であった「両さん像」(39.7%)は、各年齢層において平均して認知されている。

	回答数	割合
柴又帝釈天・参道	187	62.3%
寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	101	33.7%
山本亭	25	8.3%
両さん像	119	39.7%
キャプテン翼像	26	8.7%
矢切の渡し	125	41.7%
水元公園	54	18.0%
堀切菖蒲園	63	21.0%
立石駅前商店街	40	13.3%
町工場見学	20	6.7%
伝統産業(江戸切子等)の見学・体験	55	18.3%
銭湯	32	10.7%
寅さん像・さくら像	85	28.3%
モンチッチ公園・モンチッチマンホール	9	3.0%
郷土と天文の博物館(プラネタリウム)	12	4.0%
その他	0	0.0%
あてはまるものはない	87	29.0%
全体	300	



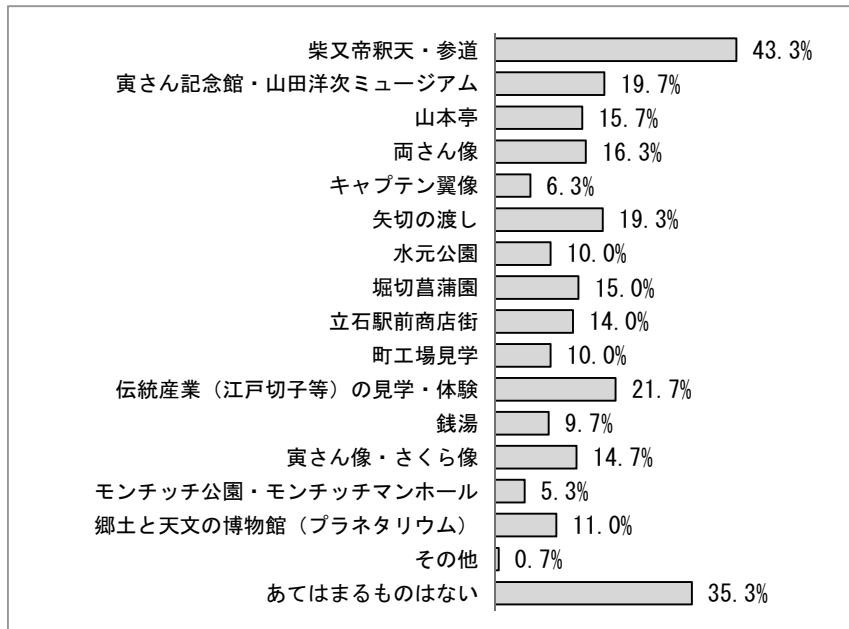
<属性クロス集計表>

		認知度 _ 知っている																
()=n		柴又帝釈天・参道	寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	山本寺	両さん像	キャプテン翼像	矢切の渡し	水元公園	堀切菖蒲園	立石駅前商店街	町工場見学	伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	銭湯	寅さん像・さくら像	モンテッチ公園・モンテッチマンホール	郷土と天文の博物館（フラネタリウム）	その他	あてはまるものはない
全体	回答数	187	101	25	119	26	125	54	63	40	20	55	32	85	9	12	-	87
	比率（300）	62.3%	33.7%	8.3%	39.7%	8.7%	41.7%	18.0%	21.0%	13.3%	6.7%	18.3%	10.7%	28.3%	3.0%	4.0%	-	29.0%
性別	男性（191）	69.1%	39.3%	8.9%	45.5%	10.5%	51.8%	20.9%	24.1%	16.8%	8.4%	21.5%	13.6%	33.0%	3.1%	5.2%	-	24.1%
	女性（109）	50.5%	23.9%	7.3%	29.4%	5.5%	23.9%	12.8%	15.6%	7.3%	3.7%	12.8%	5.5%	20.2%	2.8%	1.8%	-	37.6%
年齢	16歳～19歳（1）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0%	-	-	-	0.0%
	20歳代（10）	30.0%	30.0%	10.0%	40.0%	20.0%	40.0%	10.0%	30.0%	20.0%	-	10.0%	10.0%	20.0%	-	-	-	40.0%
	30歳代（33）	45.5%	18.2%	9.1%	45.5%	12.1%	12.1%	3.0%	6.1%	3.0%	3.0%	9.1%	21.2%	18.2%	-	3.0%	-	42.4%
	40歳代（81）	61.7%	35.8%	3.7%	43.2%	7.4%	30.9%	16.0%	21.0%	13.6%	3.7%	14.8%	11.1%	22.2%	6.2%	3.7%	-	28.4%
	50歳代（76）	63.2%	31.6%	10.5%	42.1%	9.2%	52.6%	23.7%	26.3%	13.2%	10.5%	25.0%	11.8%	31.6%	3.9%	3.9%	-	28.9%
	60歳代（71）	73.2%	43.7%	9.9%	36.6%	7.0%	56.3%	19.7%	19.7%	16.9%	7.0%	19.7%	5.6%	35.2%	-	2.8%	-	22.5%
	70歳代（22）	81.8%	31.8%	9.1%	31.8%	9.1%	50.0%	27.3%	27.3%	18.2%	13.6%	27.3%	9.1%	40.9%	4.5%	13.6%	-	13.6%
80歳代以上（6）	16.7%	16.7%	16.7%	-	-	16.7%	16.7%	16.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	83.3%
居住地	北海道・東北（33）	51.5%	33.3%	12.1%	36.4%	18.2%	24.2%	6.1%	6.1%	9.1%	3.0%	9.1%	9.1%	21.2%	3.0%	6.1%	-	36.4%
	東京都（33）	72.7%	42.4%	12.1%	57.6%	6.1%	63.6%	48.5%	51.5%	24.2%	6.1%	24.2%	9.1%	33.3%	3.0%	3.0%	-	15.2%
	その他関東（74）	68.9%	44.6%	6.8%	50.0%	4.1%	51.4%	33.8%	40.5%	24.3%	9.5%	29.7%	13.5%	36.5%	4.1%	4.1%	-	21.6%
	中部・北陸（49）	53.1%	18.4%	6.1%	36.7%	14.3%	32.7%	16.3%	6.1%	2.0%	4.1%	14.3%	10.2%	22.4%	4.1%	6.1%	4.1%	26.5%
	関西（67）	64.2%	28.4%	7.5%	32.8%	7.5%	38.8%	4.5%	13.4%	10.4%	10.4%	16.4%	10.4%	26.9%	3.0%	4.5%	-	29.9%
中四国・九州（44）	45.5%	29.5%	9.1%	34.1%	11.4%	36.4%	4.5%	4.5%	6.8%	2.3%	9.1%	6.8%	20.5%	-	2.3%	-	45.5%	

Q 4-2：葛飾区の観光資源で行ってみたい（また行きたい）のはどれですか。（複数回答可）

- ◆認知度同様、「柴又帝釈天・参道」（43.3%）への訪問意欲が最も高いという結果になった。各年齢層とも平均して高いが、特に20歳代において高い割合となったことは興味深い。
- ◆「伝統産業の見学・体験」（21.7%）が2番目に高いものとして挙げられた。その土地ならではのものに触れ、その土地ならではの体験をしたいというニーズの高さと、年齢層が上がるほど高くなる傾向が示された。

	回答数	割合
柴又帝釈天・参道	130	43.3%
寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	59	19.7%
山本亭	47	15.7%
両さん像	49	16.3%
キャプテン翼像	19	6.3%
矢切の渡し	58	19.3%
水元公園	30	10.0%
堀切菖蒲園	45	15.0%
立石駅前商店街	42	14.0%
町工場見学	30	10.0%
伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	65	21.7%
銭湯	29	9.7%
寅さん像・さくら像	44	14.7%
モンチッチ公園・モンチッチマンホール	16	5.3%
郷土と天文の博物館（プラネタリウム）	33	11.0%
その他	2	0.7%
あてはまるものはない	106	35.3%
全体	300	



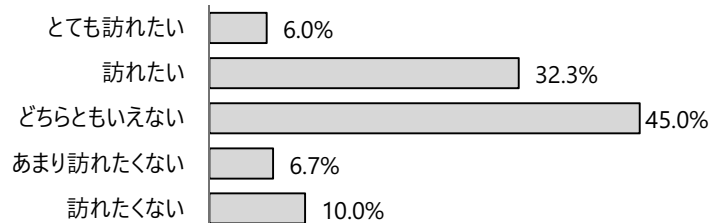
<属性クロス集計表>

		訪問意思 _ 行ってみたい																
()=n		柴又帝釈天・参道	寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	山本寺	両さん像	キャプテン翼像	矢切の渡し	水元公園	堀切菖蒲園	立石駅前商店街	町工場見学	伝統産業 (江戸切子等) の見学・体験	銭湯	寅さん像・さくら像	モンテッチ公園・モンテッチマンホール	郷土と天文の博物館 (フラネタリウム)	その他	あてはまるものはない
全体	回答数	130	59	47	49	19	58	30	45	42	30	65	29	44	16	33	2	106
	比率 (300)	43.3%	19.7%	15.7%	16.3%	6.3%	19.3%	10.0%	15.0%	14.0%	10.0%	21.7%	9.7%	14.7%	5.3%	11.0%	0.7%	35.3%
性別	男性 (191)	45.0%	23.6%	14.1%	16.8%	5.2%	19.9%	9.4%	13.1%	14.7%	11.0%	19.4%	11.0%	17.3%	3.7%	9.9%	1.0%	33.5%
	女性 (109)	40.4%	12.8%	18.3%	15.6%	8.3%	18.3%	11.0%	18.3%	12.8%	8.3%	25.7%	7.3%	10.1%	8.3%	12.8%	-	38.5%
年齢	16歳～19歳 (1)	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	0.0%
	20歳代 (10)	50.0%	10.0%	30.0%	20.0%	10.0%	-	-	10.0%	30.0%	-	10.0%	10.0%	-	10.0%	20.0%	-	30.0%
	30歳代 (33)	27.3%	9.1%	9.1%	24.2%	12.1%	9.1%	9.1%	12.1%	9.1%	6.1%	18.2%	15.2%	12.1%	9.1%	6.1%	-	48.5%
	40歳代 (81)	44.4%	16.0%	12.3%	18.5%	7.4%	12.3%	9.9%	9.9%	19.8%	7.4%	17.3%	11.1%	12.3%	6.2%	14.8%	-	33.3%
	50歳代 (76)	46.1%	21.1%	11.8%	18.4%	3.9%	23.7%	9.2%	15.8%	10.5%	11.8%	22.4%	7.9%	22.4%	3.9%	6.6%	1.3%	36.8%
	60歳代 (71)	46.5%	28.2%	19.7%	11.3%	4.2%	32.4%	11.3%	16.9%	12.7%	11.3%	26.8%	8.5%	12.7%	4.2%	11.3%	-	29.6%
	70歳代 (22)	45.5%	18.2%	22.7%	4.5%	4.5%	13.6%	13.6%	31.8%	4.5%	18.2%	27.3%	4.5%	18.2%	-	9.1%	-	31.8%
80歳代以上 (6)	16.7%	16.7%	33.3%	-	-	-	-	-	-	16.7%	-	-	-	-	-	16.7%	16.7%	66.7%
居住地	北海道・東北 (33)	45.5%	24.2%	9.1%	27.3%	12.1%	12.1%	3.0%	6.1%	21.2%	12.1%	27.3%	6.1%	15.2%	9.1%	15.2%	-	27.3%
	東京都 (33)	39.4%	15.2%	18.2%	-	-	24.2%	21.2%	30.3%	24.2%	6.1%	24.2%	9.1%	3.0%	3.0%	12.1%	3.0%	24.2%
	その他関東 (74)	50.0%	23.0%	14.9%	17.6%	4.1%	20.3%	12.2%	21.6%	17.6%	6.8%	24.3%	6.8%	17.6%	2.7%	6.8%	-	29.7%
	中部・北陸 (49)	38.8%	14.3%	20.4%	24.5%	12.2%	16.3%	10.2%	10.2%	4.1%	8.2%	18.4%	12.2%	10.2%	8.2%	16.3%	4.1%	32.7%
	関西 (67)	35.8%	13.4%	7.5%	13.4%	4.5%	17.9%	6.0%	10.4%	7.5%	11.9%	17.9%	10.4%	13.4%	3.0%	6.0%	-	44.8%
中四国・九州 (44)	40.9%	25.0%	25.0%	22.7%	11.4%	27.3%	11.4%	11.4%	13.6%	15.9%	18.2%	15.9%	20.5%	9.1%	13.6%	2.3%	45.5%	

Q5：今後、葛飾区を来訪したいと思いますか。

◆「とても訪れたい」「訪れたい」の計で38.3%と、「どちらともいえない」(45.0%)を下回る結果となった。

	回答数	割合
とても訪れたい	18	6.0%
訪れたい	97	32.3%
どちらともいえない	135	45.0%
あまり訪れたくない	20	6.7%
訪れたくない	30	10.0%
全体	300	100.0%



<属性クロス集計表>

		訪問（再訪）意思				
()=n		とても訪れたい	訪れたい	どちらともいえない	あまり訪れたくない	訪れたくない
全体	回答数	18	97	135	20	30
	比率（300）	6.0%	32.3%	45.0%	6.7%	10.0%
性別	男性（191）	6.8%	31.9%	46.6%	6.3%	8.4%
	女性（109）	4.6%	33.0%	42.2%	7.3%	12.8%
年齢	16歳～19歳（1）	-	-	100.0%	-	-
	20歳代（10）	20.0%	10.0%	40.0%	10.0%	20.0%
	30歳代（33）	6.1%	36.4%	36.4%	9.1%	12.1%
	40歳代（81）	4.9%	27.2%	51.9%	6.2%	9.9%
	50歳代（76）	6.6%	32.9%	48.7%	6.6%	5.3%
	60歳代（71）	7.0%	39.4%	38.0%	5.6%	9.9%
	70歳代（22）	-	40.9%	45.5%	4.5%	9.1%
	80歳代以上（6）	-	-	33.3%	16.7%	50.0%
居住地	北海道・東北（33）	15.2%	36.4%	33.3%	6.1%	9.1%
	東京都（33）	-	30.3%	60.6%	3.0%	6.1%
	その他関東（74）	10.8%	32.4%	41.9%	5.4%	9.5%
	中部・北陸（49）	2.0%	34.7%	44.9%	2.0%	16.3%
	関西（67）	3.0%	31.3%	44.8%	11.9%	9.0%
	中四国・九州（44）	4.5%	29.5%	47.7%	9.1%	9.1%

(4) まとめ

■情報を取得する媒体（メディア）の使い分け～旅行者の視点から～

旅行者が、観光情報を取得する場合、時間と媒体という2つの軸が存在する。観光情報の取得に関する回答を見てみると、ひとつの媒体に偏ることなく、旅行者にとっての時間（時期や局面）や年齢層などによって、媒体を使い分けていることが推察される。「インターネット」が最も高い率となってはいるが、必ずしもこれだけに特化することなく、テレビ番組のような媒体から観光地全体のイメージや傾向を取得し、更に理解を深めるためにインターネットで情報を収集し、いざ出発するに当たってはパンフレットやガイドブックを使い、現地では施設のパンフレットやフリーペーパー等で情報を補完するといった流れである。したがって、情報を提供する側は、媒体を偏らせることなく（媒体の取捨選択は行わず）、旅行者のニーズに対して必要な情報をいかにして的確に届けるか（提供する情報の取捨選択を行う）ということに注力すべきである。

■葛飾区のイメージ

葛飾区のイメージは、「下町の風情」（52.7%）が最も多く、次いで、「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」（38.7%）、「歴史・文化」（31.0%）、「人とのふれあい」（22.0%）という順であった。本調査の回答者300名は、214名の今までに全く葛飾区を訪問したことのない者と、86名の直近1年間の訪問はないが、それ以前には訪問したことがある者で構成されているが、「下町の風情」を挙げたのは、圧倒的に訪問したことのない者であり、一度でも訪問経験のある者は、「歴史・文化」がトップであった。葛飾区への訪問経験のない者が抱く下町の風情や人情といった漠然としたイメージを、具体的な魅力としてのイメージに変えていくことができれば、新たな観光客層の開拓へと繋げていくことができる。

本調査において、「柴又帝釈天・参道」や「矢切の渡し」、「両さん像」などは、各年齢層における認知度の高い観光スポットであった。そして、「柴又帝釈天・参道」は認知度と同様に各年齢層において訪問への興味が示され、特に20歳代においてその率が高かった。また、「伝統産業の見学・体験」も全体的に高い傾向にあり、その土地ならではのものに触れ、その土地ならではの体験をしたという潜在的なニーズが示された。

葛飾区を「とても訪れたい」「訪れたい」とした38.3%を実際の来訪へと結びつけ、「どちらともいえない」とした45.0%に葛飾区への興味を抱いてもらう取り組みがこれからの葛飾区の観光にとって重要な取り組みのひとつとなる。著名人を「かつしか観光大使」として任命し、葛飾区のイメージアップを図るとともに、区内で催されるイベント等にゲストとして招くといった葛飾区における新たな取り組みは、このきっかけのひとつになり得るものである。

3. ヒアリング調査

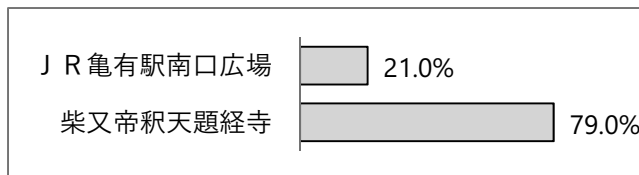
(1) 調査概要

	概 要
調査方法	対面調査
実施期間	平成 29 年 9 月 16 日（土）、17 日（日）、23 日（土）、24 日（日）の 4 日間
調査対象	葛飾区内の 2 地点（J R 亀有駅南口広場・柴又帝釈天題経寺）を訪れている 16 歳以上の男女を対象とした。
回収数	J R 亀有駅南口広場 ----- 75 票 柴又帝釈天題経寺 ----- 282 票 合計 357 票
留意点	<ul style="list-style-type: none">・比率は全て百分率で表し、小数点第 2 位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が 100%にならないことがある。・複数回答においては、%の合計が 100%を超える場合がある。・グラフ及び集計表における選択肢の文章は、一部省略している場合がある。

(2) 回答者属性

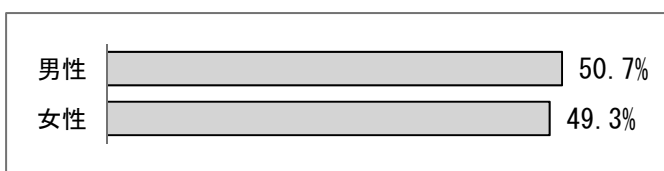
[0] 調査地点

	回答数	割合
J R 亀有 駅南口広場	75	21.0%
柴又 帝釈天 題経寺	282	79.0%
全体	357	100.0%



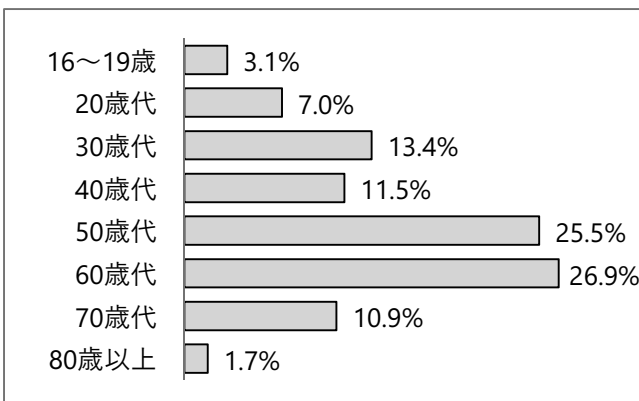
[1] 性別

	回答数	割合
男性	181	50.7%
女性	176	49.3%
全体	357	100.0%



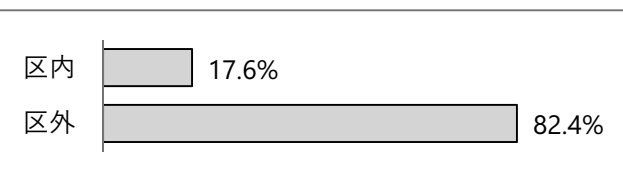
[2] 年代

	回答数	割合
16~19歳	11	3.1%
20歳代	25	7.0%
30歳代	48	13.4%
40歳代	41	11.5%
50歳代	91	25.5%
60歳代	96	26.9%
70歳代	39	10.9%
80歳以上	6	1.7%
全体	357	100.0%



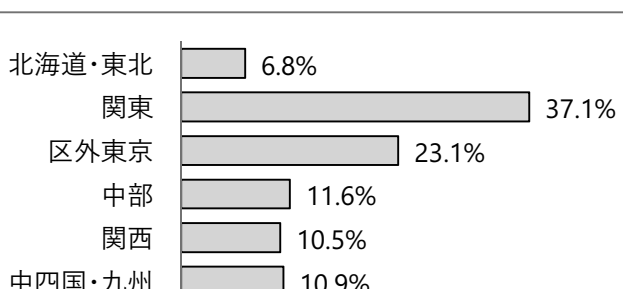
[3-1] 居住地 (葛飾区内外)

	回答数	割合
区内	63	17.6%
区外	294	82.4%
全体	357	100.0%



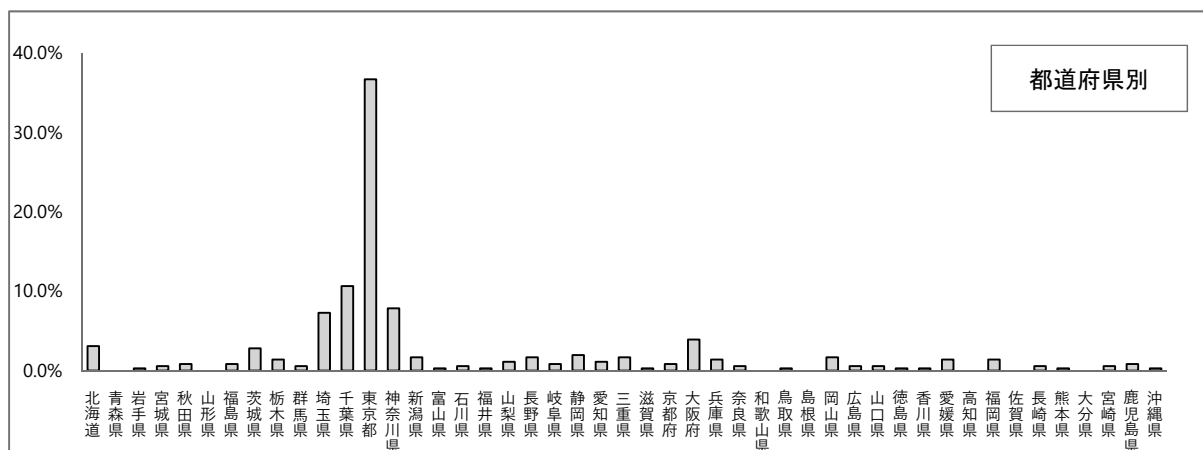
[3-2] 居住地 (葛飾区外内訳概要)

	回答数	割合
北海道・東北	20	6.8%
関東	109	37.1%
区外東京	68	23.1%
中部	34	11.6%
関西	31	10.5%
中四国・九州	32	10.9%
全体	294	100.0%



[3-3] 居住地（都道府県別）

都道府県	回答数	割合	都道府県	回答数	割合	都道府県	回答数	割合
北海道	11	3.1%	石川県	2	0.6%	岡山県	6	1.7%
青森県	0	0.0%	福井県	1	0.3%	広島県	2	0.6%
岩手県	1	0.3%	山梨県	4	1.1%	山口県	2	0.6%
宮城県	2	0.6%	長野県	6	1.7%	徳島県	1	0.3%
秋田県	3	0.8%	岐阜県	3	0.8%	香川県	1	0.3%
山形県	0	0.0%	静岡県	7	2.0%	愛媛県	5	1.4%
福島県	3	0.8%	愛知県	4	1.1%	高知県	0	0.0%
茨城県	10	2.8%	三重県	6	1.7%	福岡県	5	1.4%
栃木県	5	1.4%	滋賀県	1	0.3%	佐賀県	0	0.0%
群馬県	2	0.6%	京都府	3	0.8%	長崎県	2	0.6%
埼玉県	26	7.3%	大阪府	14	3.9%	熊本県	1	0.3%
千葉県	38	10.6%	兵庫県	5	1.4%	大分県	0	0.0%
東京都	131	36.7%	奈良県	2	0.6%	宮崎県	2	0.6%
神奈川県	28	7.8%	和歌山県	0	0.0%	鹿児島県	3	0.8%
新潟県	6	1.7%	鳥取県	1	0.3%	沖縄県	1	0.3%
富山県	1	0.3%	島根県	0	0.0%	全体	357	100.0%



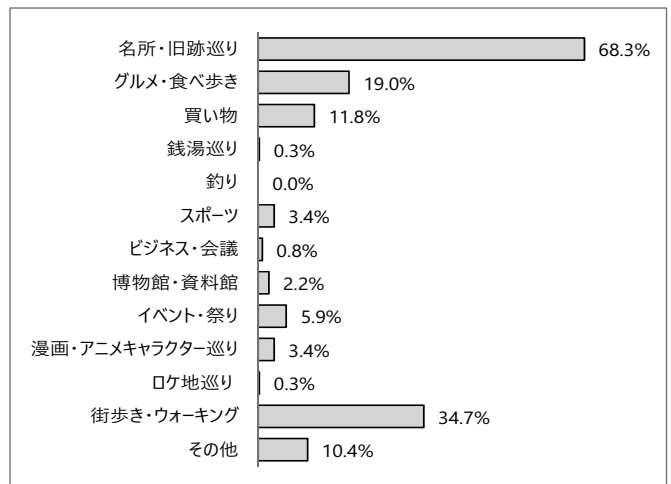
③回答結果

《葛飾区への今回の来訪について》

Q1：今回の来訪の目的は何ですか。（複数回答可）

- ◆全体としては、「名所・旧跡巡り」（68.3%）、「まち歩き・ウォーキング」（34.7%）が多くなっている。
- ◆調査地点により特徴が顕著に表れた結果となった。JR亀有駅南口広場では、「まち歩き・ウォーキング」（37.3%）、「買い物」（28.0%）、「イベント・祭り」（22.7%）、「名所・旧跡巡り」（13.3%）、「漫画・アニメキャラクター巡り」（12.0%）と様々な目的を持って訪れている。これは、銅像巡りをはじめとする「こちら葛飾区亀有公園前派出所」縁の場所巡り、アリオ亀有や地元商店街での買い物、そして、亀有香取神社の参拝等と考えられる。また、「イベント・祭り」が多くなっているのは、調査を実施した期間が亀有香取神社の例大祭の時期と重なったことが主因と考えられる。一方で、柴又帝釈天題経寺では、「名所・旧跡巡り」（83.0%）が圧倒的に多く、「まち歩き・ウォーキング」（34.0%）、「グルメ・食べ歩き」（21.6%）がこれに続くかたちとなっており、柴又帝釈天への参拝、参道の散策や食べ歩きが主軸となっていることがうかがえる。

	回答数	割合
名所・旧跡巡り	244	68.3%
グルメ・食べ歩き	68	19.0%
買い物	42	11.8%
銭湯巡り	1	0.3%
釣り	0	0.0%
スポーツ	12	3.4%
ビジネス・会議	3	0.8%
博物館・資料館	8	2.2%
イベント・祭り	21	5.9%
漫画・アニメキャラクター巡り	12	3.4%
ロケ地巡り	1	0.3%
街歩き・ウォーキング	124	34.7%
その他	37	10.4%
全体	357	



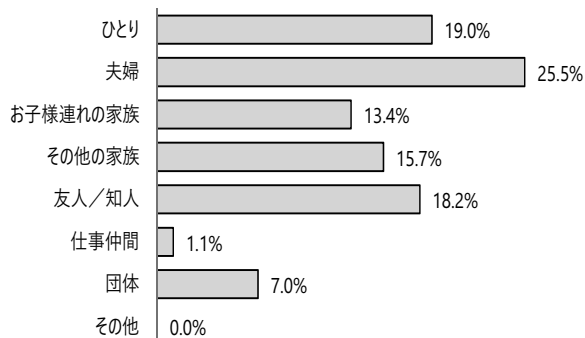
<調査地クロス集計>

	名所・旧跡巡り	グルメ・食べ歩き	買い物	銭湯巡り	釣り	スポーツ	ビジネス・会議	博物館・資料館	イベント・祭り	漫画・アニメキャラクター巡り	ロケ地巡り	まち歩き・ウォーキング	その他
回答数	244	68	42	1	0	12	3	8	21	12	1	124	37
全体計（n = 357）	68.3%	19.0%	11.8%	0.3%	-	3.4%	0.8%	2.2%	5.9%	3.4%	0.3%	34.7%	10.4%
亀有駅南口（n = 75）	13.3%	9.3%	28.0%	-	-	5.3%	-	-	22.7%	12.0%	-	37.3%	21.3%
柴又帝釈天題経寺（n = 282）	83.0%	21.6%	7.4%	0.4%	-	2.8%	1.1%	2.8%	1.4%	1.1%	0.4%	34.0%	7.4%

Q2:どなたと一緒に葛飾区を来訪されましたか。あなたご自身を含めた同行者をお教えてください。

- ◆全体で見ると、「夫婦」(25.5%)が最も多く、次いで「ひとり」(19.0%)、「友人／知人」(18.2%)、と少人数での訪問が主になっていることがうかがえる。
- ◆調査地点による違いが顕著に表れており、JR亀有駅南口広場では「お子様連れの家族」(28.0%)と「友人／知人」(28.0%)が最も多く、次いで「ひとり」(24.0%)がほぼ同率となっている。一方で、柴又帝釈天題経寺では「夫婦」(28.4%)が突出し、「その他の家族」(18.8%)、「ひとり」(17.7%)、「友人／知人」(15.6%)が並ぶ形となっている。また、柴又帝釈天題経寺では「団体」(8.5%)での訪問もあり、これは調査時期による変動も想定される。

	回答数	割合
ひとり	68	19.0%
夫婦	91	25.5%
お子様連れの家族	48	13.4%
その他の家族	56	15.7%
友人／知人	65	18.2%
仕事仲間	4	1.1%
団体	25	7.0%
その他	0	0.0%
全体	357	100.0%



同行人数 (団体以外)	
最小値	1人
最大値	21人
平均	2.4人

団体	
最小値	10人
最大値	90人

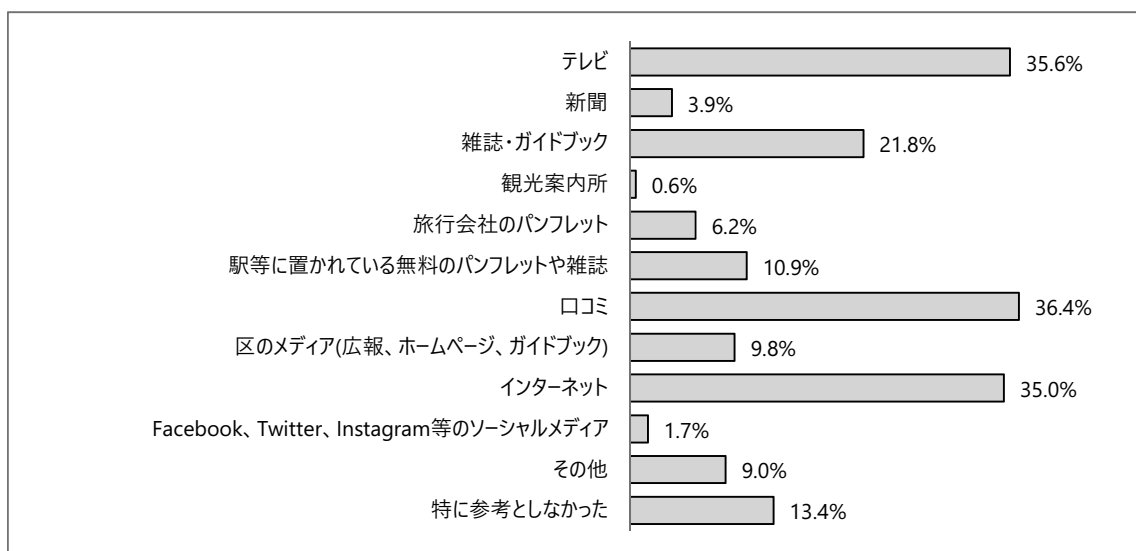
<調査地クロス集計>

	ひとり	夫婦	お子様連れの家族	その他の家族	友人／知人	仕事仲間	団体	その他
回答数	68	91	48	56	65	4	25	0
全体計 (n = 357)	19.0%	25.5%	13.4%	15.7%	18.2%	1.1%	7.0%	-
亀有駅南口 (n = 75)	24.0%	14.7%	28.0%	4.0%	28.0%	-	1.3%	-
柴又帝釈天題経寺 (n = 282)	17.7%	28.4%	9.6%	18.8%	15.6%	1.4%	8.5%	-

Q3：来訪されるにあたり、葛飾区等の観光情報を何から得ましたか。（複数回答可）

- ◆全体としては、「ロコミ」（36.4%）、「テレビ」（35.6%）、「インターネット」（35.0%）の順で高くなっている。
- ◆調査地点による違いが顕著であり、JR亀有駅南口広場では「インターネット」（56.0%）が最も高く、主に若い世代がインターネットからの情報を収集して来訪していると推察される。一方で、柴又帝釈天題経寺では「テレビ」（40.8%）が最も多く、情報番組や旅番組などの影響が大きいと推察される。また、両地点共通で「ロコミ」による情報収集が多くなっており、来街者一人ひとりのおもてなしの大切さが増していると考えられる。
- ◆「雑誌・ガイドブック」及びパンフレット類等の紙媒体を合わせると42.8%となり、根強い需要があることがわかる。したがって、偏ったメディア戦略は得策ではなく、使いどころのタイミングを見極めながら、効果的に情報発信していくことが大切となる。

	回答数	割合
テレビ	127	35.6%
新聞	14	3.9%
雑誌・ガイドブック	78	21.8%
観光案内所	2	0.6%
旅行会社のパンフレット	22	6.2%
駅等に置かれている無料のパンフレットや雑誌	39	10.9%
ロコミ	130	36.4%
区のメディア(広報、ホームページ、ガイドブック)	35	9.8%
インターネット	125	35.0%
Facebook、Twitter、Instagram等のソーシャルメディア	6	1.7%
その他	32	9.0%
特に参考としなかった	48	13.4%
全体	357	



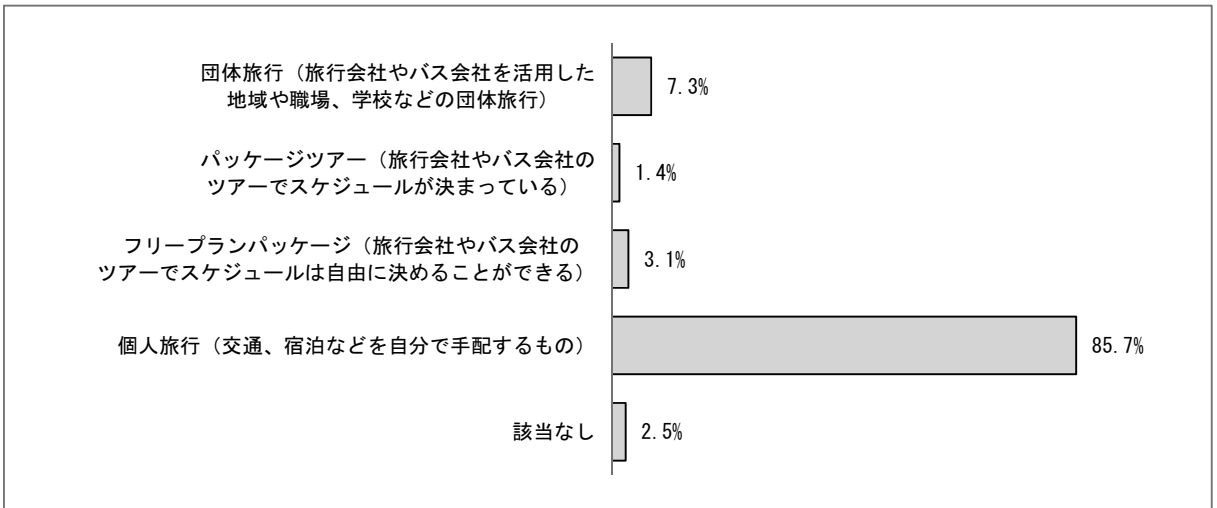
<調査地クロス集計>

	テレビ	新聞	雑誌・ガイドブック	観光案内所	旅行会社のパンフレット	駅等に置かれている無料のパンフレットや雑誌	口コミ	区のメディア（広報、ホームページ、ガイドブック）	インターネット	Instagram、Facebook、Twitter、ソーシャルメディア	その他	特に参考としなかった
回答数	127	14	78	2	22	39	130	35	125	6	32	48
全体計（n = 357）	35.6%	3.9%	21.8%	0.6%	6.2%	10.9%	36.4%	9.8%	35.0%	1.7%	9.0%	13.4%
亀有駅南口（n = 75）	16.0%	2.7%	9.3%	2.7%	1.3%	14.7%	38.7%	34.7%	56.0%	-	6.7%	4.0%
柴又帝釈天題経寺（n = 282）	40.8%	4.3%	25.2%	-	7.4%	9.9%	35.8%	3.2%	29.4%	2.1%	9.6%	16.0%

Q 4 : 旅行の形態は次のうちどれですか。

- ◆ 「個人旅行」(85.7%) が圧倒的に多く、いずれの調査地点においても同様であった。
- ◆ J R 亀有駅南口広場では「個人旅行」及び「フリープランパッケージ」のみであったのに対し、柴又帝釈天題経寺では「団体旅行」及び「パッケージツアー」による訪問も1割程度見られた。

	回答数	割合
団体旅行（旅行会社やバス会社を活用した地域や職場、学校などの団体旅行）	26	7.3%
パッケージツアー（旅行会社やバス会社のツアーでスケジュールが決まっている）	5	1.4%
フリープランパッケージ（旅行会社やバス会社のツアーでスケジュールは自由に決めることができる）	11	3.1%
個人旅行（交通、宿泊などを自分で手配するもの）	306	85.7%
該当なし	9	2.5%
全体	357	100.0%



< 調査地クロス集計 >

	団体旅行や職場、学校などの団体旅行	パッケージツアー	フリープランパッケージ	個人旅行（交通、宿泊などを自分で手配するもの）	該当なし
回答数	26	5	11	306	9
全体計（n = 357）	7.3%	1.4%	3.1%	85.7%	2.5%
亀有駅南口（n = 75）	-	-	5.3%	93.3%	1.3%
柴又帝釈天題経寺（n = 282）	9.2%	1.8%	2.5%	83.7%	2.8%

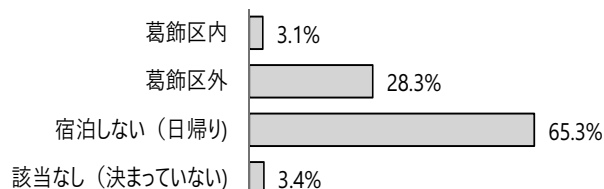
<調査地クロス集計>

	1 時 間 程 度	2 〜 3 時 間	半 日	1 日	2 日 以 上	該 当 な し (わ か ら な い)
回答数	116	163	61	6	2	9
全体計 (n = 357)	32.5%	45.7%	17.1%	1.7%	0.6%	2.5%
亀有駅南口 (n = 75)	12.0%	54.7%	24.0%	5.3%	2.7%	1.3%
柴又帝釈天題経寺 (n = 282)	37.9%	43.3%	15.2%	0.7%	-	2.8%

Q7 : 今回の旅行ではどちらにお泊りになりましたか。(お泊りになる予定ですか)

- ◆「宿泊しない」(65.3%)が高くなっており、本調査の回答者の居住地が日帰り可能と考えられる関東地方(東京都を含む)の割合(67%強)と符合する。
- ◆一方で、31.4%が葛飾区内外に宿泊しており、葛飾区を訪れる観光客の宿泊ニーズもあると捉えることができる。柴又帝釈天題経寺を訪れる観光客に、そのニーズは高い。

	回答数	割合
葛飾区内	11	3.1%
葛飾区外	101	28.3%
宿泊しない(日帰り)	233	65.3%
該当なし(決まっていない)	12	3.4%
全体	357	100.0%



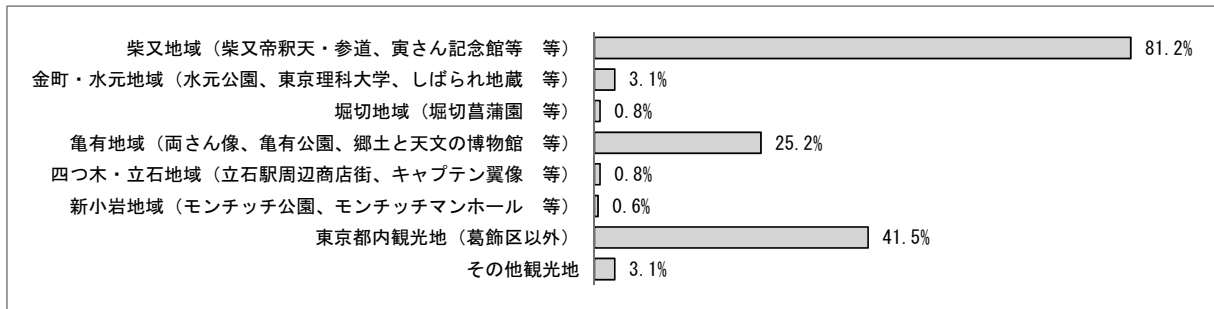
<調査地クロス集計>

	葛 飾 区 内	葛 飾 区 外	宿 泊 し な い (日 帰 り な い)	決 ま っ て い な い (該 当 な し)
回答数	11	101	233	12
全体計 (n = 357)	3.1%	28.3%	65.3%	3.4%
亀有駅南口 (n = 75)	2.7%	12.0%	85.3%	0.0%
柴又帝釈天題経寺 (n = 282)	3.2%	32.6%	59.9%	4.3%

Q 8-1 : 今回の旅行で立ち寄った（もしくは立ち寄る予定の）地域はどこですか。（複数回答可）

- ◆ J R 亀有駅南口広場においては、「亀有地域」から他の地域への周遊がほとんど見られず、唯一、「柴又地域」への周遊が1割程度見られた。一方で柴又帝釈天題経寺においては、高い割合で「柴又地域」と葛飾区以外の「東京都内観光地」を周遊している。
- ◆ この結果は、花菖蒲が咲く時期など、季節による変動もあると推察される。

	回答数	割合
柴又地域（柴又帝釈天・参道、寅さん記念館等 等）	290	81.2%
金町・水元地域（水元公園、東京理科大学、しばられ地藏 等）	11	3.1%
堀切地域（堀切菖蒲園 等）	3	0.8%
亀有地域（両さん像、亀有公園、郷土と天文の博物館 等）	90	25.2%
四つ木・立石地域（立石駅周辺商店街、キャプテン翼像 等）	3	0.8%
新小岩地域（モンチッチ公園、モンチッチマンホール 等）	2	0.6%
東京都内観光地（葛飾区以外）	148	41.5%
その他観光地	11	3.1%
全体	357	



< 調査地クロス集計 >

	柴又地域 柴又帝釈天・参道、寅さん記念館等 等）	金町・水元地域 科大学、しばられ地藏、水元公園、東京理	堀切地域 堀切菖蒲園 等）	亀有地域 両さん像、亀有公園、郷土と天文の博物館 等）	四つ木・立石地域 街、キャプテン翼像 等）	新小岩地域 チッチマンホール公園、モン	東京都内観光地 （葛飾区以外）	その他観光地
回答数	290	11	3	90	3	2	148	11
全体計（n = 357）	81.2%	3.1%	0.8%	25.2%	0.8%	0.6%	41.5%	3.1%
亀有駅南口（n = 75）	10.7%	4.0%	1.3%	100.0%	-	1.3%	5.3%	8.0%
柴又帝釈天題経寺（n = 282）	100.0%	2.8%	0.7%	5.3%	1.1%	0.4%	51.1%	1.8%

Q9：それぞれの地域への交通機関は何ですか。

- ◆「柴又地域」においては、鉄道利用による訪問が多いほか、自家用車による訪問が15%程度、「貸切バス」による訪問が10%程度見られる。
- ◆「亀有地域」においては、鉄道利用による訪問が多いほか、「路線バス」による訪問が30%強見られる。

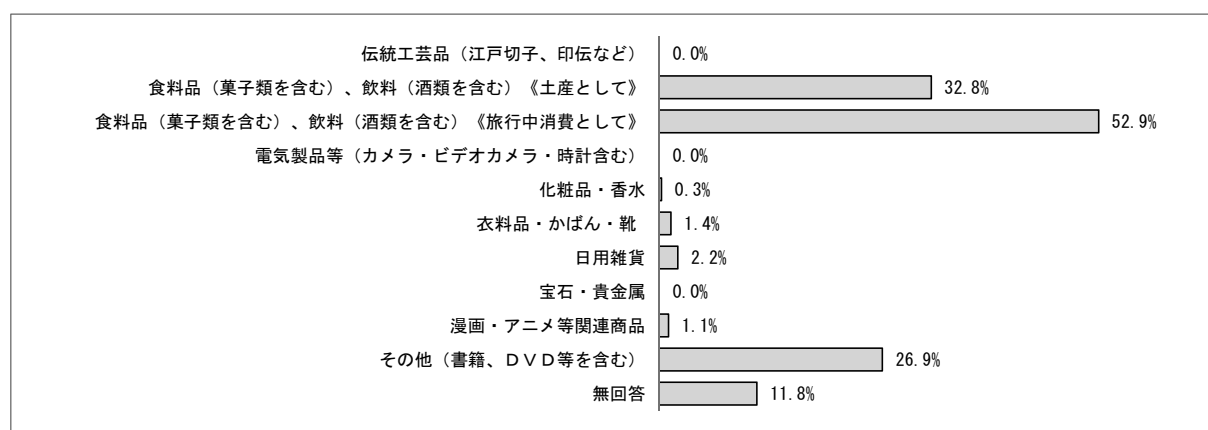
		柴又地域 (柴又帝釈天・参道、寅さん記念館等)	金町・水元地域 (永元公園、東京理科大学、しばられ地蔵等)	堀切地域 (堀切菖蒲園等)	亀有地域 (寅さん像、亀有公園、郷土と天文の博物館等)	四つ木・立石地域 (立石駅周辺商店街、キャプテン翼像等)	新小岩地域 (モンチッチ公園、モンチッチマンホール等)	東京都内観光地 (葛飾区以外)	その他観光地
JR	回答数	25	1	0	29	0	0	6	7
	割合	8.7%	10.0%	-	33.0%	-	-	4.1%	26.9%
私鉄・地下鉄	回答数	148	5	0	18	3	0	75	6
	割合	51.4%	50.0%	-	20.5%	100.0%	-	51.0%	23.1%
路線バス	回答数	16	0	0	29	0	1	8	4
	割合	5.6%	-	-	33.0%	-	50.0%	5.4%	15.4%
貸切バス	回答数	31	0	0	0	0	0	30	1
	割合	10.8%	-	-	-	-	-	20.4%	3.8%
タクシー	回答数	2	0	0	0	0	0	0	0
	割合	0.7%	-	-	-	-	-	-	-
自家用車	回答数	44	0	1	6	0	1	21	0
	割合	15.3%	-	33.3%	6.8%	-	50.0%	14.3%	-
自転車	回答数	10	3	1	6	0	0	2	2
	割合	3.5%	30.0%	33.3%	6.8%	-	-	1.4%	7.7%
その他	回答数	12	1	1	0	0	0	5	6
	割合	4.2%	10.0%	33.3%	-	-	-	3.4%	23.1%
合計	回答数	288	10	3	88	3	2	147	26

※レンタカー、バイク利用は皆無。(回答ゼロ)

Q10：葛飾区滞在中に何をお買い求めになりましたか。（複数回答可）

- ◆ 「食料品、飲料」が最も多く、《旅行中消費として》が52.9%、《土産として》が32.8%という結果であった。
- ◆ JR亀有駅南口広場においては、「漫画・アニメ等関連商品」ほか、「日用雑貨」や「衣料品・かばん・靴」などが購入されており、買い物を目的とする来訪者が多いことを裏付ける結果となっている。一方で、柴又帝釈天題経寺においては、「食料品、飲料」の中でも《旅行中消費として》の割合が特に高く、食べ歩きを目的として訪れていることがうかがえる。また、御守や御札、御朱印等をその内訳とする「その他」が多くなっているのは、柴又帝釈天をはじめとする寺社への参詣を目的とした来訪者が多い柴又地域の特徴を表している。

	回答数	割合
伝統工芸品（江戸切子、印伝など）	0	0.0%
食料品（菓子類を含む）、飲料（酒類を含む）《土産として》	117	32.8%
食料品（菓子類を含む）、飲料（酒類を含む）《旅行中消費として》	189	52.9%
電気製品等（カメラ・ビデオカメラ・時計含む）	0	0.0%
化粧品・香水	1	0.3%
衣料品・かばん・靴	5	1.4%
日用雑貨	8	2.2%
宝石・貴金属	0	0.0%
漫画・アニメ等関連商品	4	1.1%
その他（書籍、DVD等を含む）	96	26.9%
無回答	42	11.8%
全体	357	



<調査地クロス集計>

	伝統工芸品 (江戸切子、印伝など)	食料品 (菓子類を含む)、飲料 (《土産として》 《酒類を含む》)	食料品 (菓子類を含む)、飲料 (《旅行中消費として》 《酒類を含む》)	電気製品等 (カメラ・ビデオカメラ・時計含む)	化粧品・香水	衣料品・かばん・靴	日用雑貨	宝石・貴金属	マンガ・アニメ等関連商品	その他 (書籍、DVD等を含む)	無回答
回答数	0	117	189	0	1	5	8	0	4	96	42
全体計 (n = 357)	-	32.8%	52.9%	-	0.3%	1.4%	2.2%	-	1.1%	26.9%	11.8%
亀有駅南口 (n = 75)	-	24.0%	22.7%	-	1.3%	5.3%	9.3%	-	5.3%	2.7%	40.0%
柴又帝釈天題経寺 (n = 282)	-	35.1%	61.0%	-	-	0.4%	0.4%	-	-	33.3%	4.3%

Q11：区内への来訪時に使った（使う予定の）金額はいくらですか。

【一人あたりのおおよその金額をお教えてください。】

- ◆日本人国内旅行の一人1回当たり旅行単価は、宿泊旅行が49,234円（前年比2.5%減）、日帰り旅行が15,602円（前年比1.0%減）（観光庁「平成28年旅行・観光消費動向調査」との比較においても、本調査結果が、日帰り旅行を中心とした消費額となっていることがうかがえる。
- ◆「飲食費」の平均値1,590円は、概ね1回の食事代相当額であり、日帰り客が多いことからすれば、昼食や軽食費を中心とする食べ歩きの支出と考えられる。
- ◆「土産・買物費」の平均値は1,838円であった。

<全体計（単位：円）>

	回答数	最小値	最大値	平均値
交通費	279	280	100,000	9,639
宿泊費	34	1,000	28,000	12,344
飲食費	284	50	30,000	1,590
土産・買物費	160	100	20,000	1,838
入場観覧費	80	100	10,000	702
その他	97	200	58,000	3,034
消費合計	(353)	300	103,300	11,808

<JR亀有駅南口広場調査（単位：円）>

	回答数	最小値	最大値	平均値
交通費	60	280	49,000	2,199
宿泊費	2	7,000	9,000	8,000
飲食費	60	50	2,000	806
土産・買物費	37	100	20,000	2,155
入場観覧費	1	450	450	450
その他	2	1,000	3,000	2,000
消費合計	(75)	380	49,000	3,740

<柴又帝釈天題経寺調査（単位：円）>

	回答数	最小値	最大値	平均値
交通費	218	280	100,000	11,687
宿泊費	32	1,000	28,000	12,616
飲食費	224	100	30,000	1,800
土産・買物費	123	100	20,000	1,742
入場観覧費	79	100	10,000	705
その他	95	200	58,000	3,056
消費合計	(278)	300	103,300	13,985

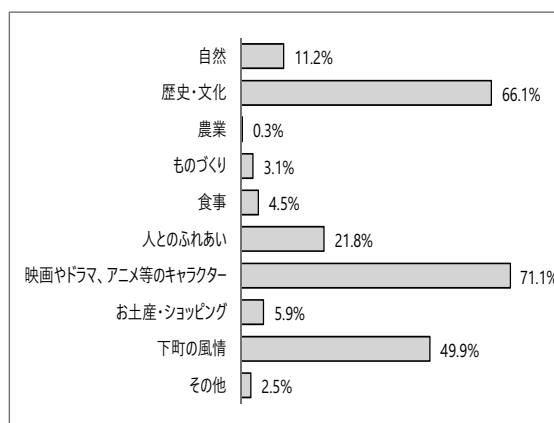
() 回答の総数

《葛飾区の観光資源について》

Q12：来訪時に感じた葛飾区の魅力は何ですか。（複数回答可）

- ◆葛飾区の魅力として「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」（71.1%）が最も多く挙げられた。「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の「両さん」や映画「男はつらいよ」の「寅さん」の影響力の強さとともに、これらを活用した観光施策の成果の表れと捉えることができる。
- ◆JR亀有駅南口広場においては「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」が圧倒的に高かった。一方、柴又帝釈天題経寺においては「歴史・文化」が最も多く挙げられ、若干の差で「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」が二番目となり、この2つが他を引き離す形となった。「寅さん」のまちとしての根強い魅力とともに、柴又帝釈天をはじめとするまちの歴史や文化、街並み等、2つの柱が柴又の魅力となっていることがうかがえる。

	回答数	割合
自然	40	11.2%
歴史・文化	236	66.1%
農業	1	0.3%
ものづくり	11	3.1%
食事	16	4.5%
人とのふれあい	78	21.8%
映画やドラマ、アニメ等のキャラクター	254	71.1%
お土産・ショッピング	21	5.9%
下町の風情	178	49.9%
その他	9	2.5%
全体	357	



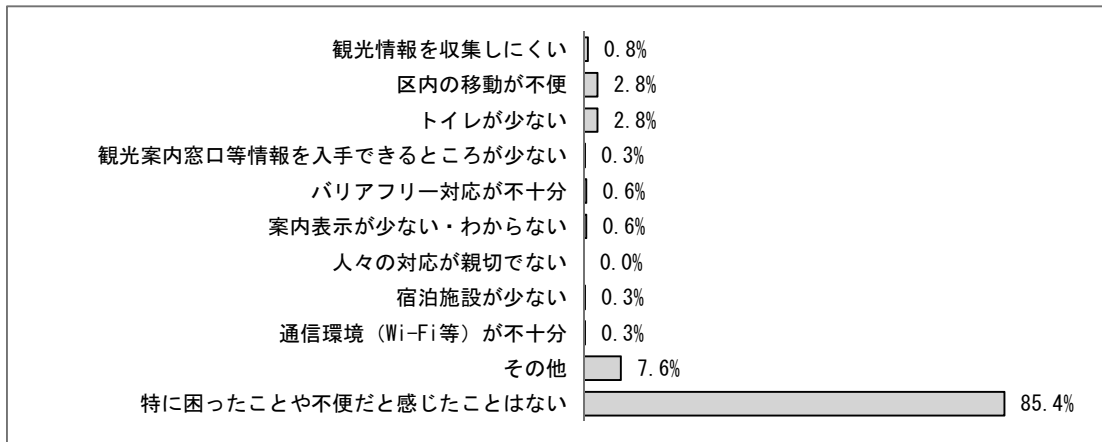
<調査地クロス集計>

	自然	歴史・文化	農業	ものづくり	食事	人とのふれあい	映画やドラマ、アニメ等のキャラクター	お土産・ショッピング	下町の風情	その他
回答数	40	236	1	11	16	78	254	21	178	9
全体計（n = 357）	11.2%	66.1%	0.3%	3.1%	4.5%	21.8%	71.1%	5.9%	49.9%	2.5%
亀有駅南口（n = 75）	12.0%	46.7%	1.3%	9.3%	1.3%	18.7%	77.3%	16.0%	48.0%	2.7%
柴又帝釈天題経寺（n = 282）	11.0%	71.3%	-	1.4%	5.3%	22.7%	69.5%	3.2%	50.4%	2.5%

Q13：来訪時に困ったことや不便だと感じたことはありましたか。（複数回答可）

- ◆「特に困ったことや不便だと感じたことはない」が85.4%という結果であった。
- ◆困ったことや不便だと感じたこととして、「区内の移動が不便」と「トイレが少ない」（いずれも2.8%）の2つが挙げられた。「その他」の中にも、「区内の移動」に関連して、電車の乗り換え等の交通の便に関する不満が5件、混雑や数の少なさ等の駐車（輪）場に関する不満が9件、洋式トイレの不足等のトイレに関する不満が5件挙げられた。

	回答数	割合
観光情報を収集しにくい	3	0.8%
区内の移動が不便	10	2.8%
トイレが少ない	10	2.8%
観光案内窓口等情報を入手できる場所が少ない	1	0.3%
バリアフリー対応が不十分	2	0.6%
案内表示が少ない・わからない	2	0.6%
人々の対応が親切でない	0	0.0%
宿泊施設が少ない	1	0.3%
通信環境（Wi-Fi等）が不十分	1	0.3%
その他	27	7.6%
特に困ったことや不便だと感じたことはない	305	85.4%
全体	357	



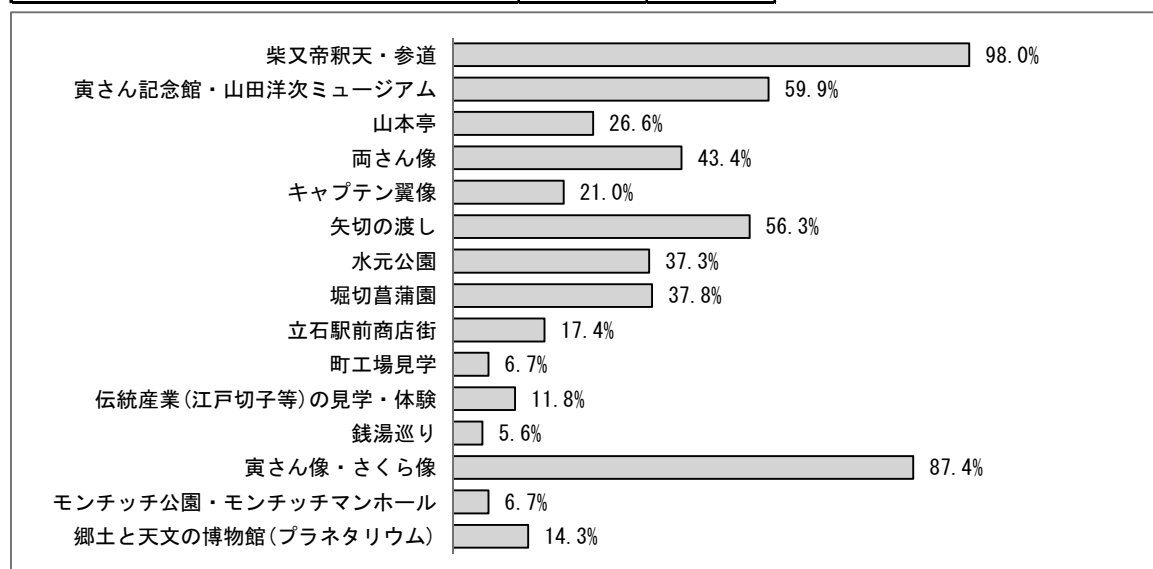
<調査地クロス集計>

	観光情報を収集しにくい	区内の移動が不便	トイレが少ない	観光案内窓口等情報を入手できるところが少ない	バリアフリー対応が不十分	案内表示が少ない・わからない	人々の対応が親切でない	宿泊施設が少ない	通信環境（Wi-Fi等）が不十分	その他	特に困ったことや不便だと感じたことはない
回答数	3	10	10	1	2	2	0	1	1	27	305
全体計（n = 357）	0.8%	2.8%	2.8%	0.3%	0.6%	0.6%	-	0.3%	0.3%	7.6%	85.4%
亀有駅南口（n = 75）	-	1.3%	1.3%	1.3%	-	2.7%	-	1.3%	-	2.7%	89.3%
柴又帝釈天題経寺（n = 282）	1.1%	3.2%	3.2%	-	0.7%	-	-	-	0.4%	8.9%	84.4%

Q14-1：葛飾区の観光資源で知っているもの。(複数回答可)

- ◆ 「柴又帝釈天・参道」(98.0%)と「寅さん像・さくら像」(87.4%)を筆頭に、「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」(56.3%)、「矢切の渡し」(56.3%)といった柴又の観光スポットの認知度の高さが示された。同じ柴又地域の中にある「山本亭」は観光スポットの中で低い数値となっており、PR等の取り組みが求められる。
- ◆ 「両さん像」の認知度は、JR亀有駅南口広場において認知度が高いことは当然であるが、10歳代～40歳代において相対的に認知度が高くなっている。同調査地点では「キャプテン翼像」や「モンチッチ公園・モンチッチマンホール」といったキャラクター関連の観光スポットも一定程度認知されており、年齢層との関連性が推察される。

	回答数	割合
柴又帝釈天・参道	350	98.0%
寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	214	59.9%
山本亭	95	26.6%
両さん像	155	43.4%
キャプテン翼像	75	21.0%
矢切の渡し	201	56.3%
水元公園	133	37.3%
堀切菖蒲園	135	37.8%
立石駅前商店街	62	17.4%
町工場見学	24	6.7%
伝統産業(江戸切子等)の見学・体験	42	11.8%
銭湯巡り	20	5.6%
寅さん像・さくら像	312	87.4%
モンチッチ公園・モンチッチマンホール	24	6.7%
郷土と天文の博物館(プラネタリウム)	51	14.3%
全体	357	



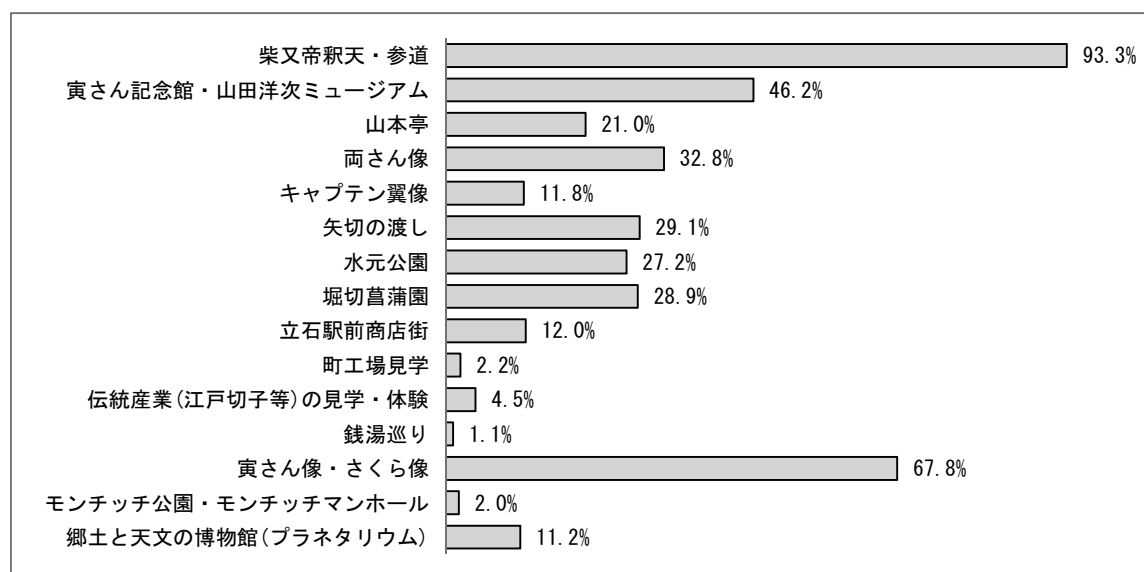
<属性クロス集計>

		認知度 _ 知っている														
()=n		柴又帝釈天・参道	寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	山本亭	両さん像	キャプテン翼像	矢切の渡し	水元公園	堀切菖蒲園	立石駅前商店街	町工場見学	伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	銭湯巡り	寅さん像・さくら像	モンテッチ公園・モンテッチマンホール	郷土と天文の博物館（プラネタリウム）
全体	回答数	350	214	95	155	75	201	133	135	62	24	42	20	312	24	51
	比率（357）	98.0%	59.9%	26.6%	43.4%	21.0%	56.3%	37.3%	37.8%	17.4%	6.7%	11.8%	5.6%	87.4%	6.7%	14.3%
調査地	亀有駅南口（75）	90.7%	76.0%	32.0%	76.0%	41.3%	53.3%	49.3%	57.3%	32.0%	12.0%	24.0%	13.3%	86.7%	21.3%	34.7%
	柴又帝釈天題経寺（282）	100.0%	55.7%	25.2%	34.8%	15.6%	57.1%	34.0%	32.6%	13.5%	5.3%	8.5%	3.5%	87.6%	2.8%	8.9%
性別	男性（181）	97.8%	63.0%	26.0%	43.1%	22.1%	56.9%	34.8%	35.4%	18.2%	6.6%	12.2%	5.0%	85.1%	4.4%	13.8%
	女性（176）	98.3%	56.8%	27.3%	43.8%	19.9%	55.7%	39.8%	40.3%	16.5%	6.8%	11.4%	6.3%	89.8%	9.1%	14.8%
年齢	16歳～19歳（11）	72.7%	63.6%	18.2%	100.0%	81.8%	36.4%	54.5%	81.8%	36.4%	9.1%	9.1%	18.2%	72.7%	36.4%	36.4%
	20歳代（25）	84.0%	56.0%	12.0%	64.0%	32.0%	24.0%	24.0%	28.0%	4.0%	-	4.0%	-	80.0%	16.0%	16.0%
	30歳代（48）	100.0%	64.6%	25.0%	43.8%	31.3%	62.5%	35.4%	27.1%	14.6%	6.3%	4.2%	2.1%	89.6%	8.3%	6.3%
	40歳代（41）	100.0%	53.7%	24.4%	51.2%	22.0%	58.5%	36.6%	34.1%	12.2%	4.9%	7.3%	4.9%	80.5%	2.4%	12.2%
	50歳代（91）	100.0%	47.3%	23.1%	39.6%	15.4%	53.8%	33.0%	30.8%	12.1%	5.5%	11.0%	5.5%	85.7%	7.7%	11.0%
	60歳代（96）	100.0%	57.3%	25.0%	27.1%	7.3%	54.2%	31.3%	34.4%	9.4%	2.1%	5.2%	1.0%	89.6%	-	7.3%
	70歳代（39）	100.0%	92.3%	48.7%	48.7%	25.6%	76.9%	59.0%	64.1%	51.3%	23.1%	35.9%	15.4%	97.4%	7.7%	35.9%
	80歳代以上（6）	100.0%	100.0%	66.7%	83.3%	50.0%	100.0%	100.0%	100.0%	83.3%	33.3%	100.0%	50.0%	100.0%	16.7%	66.7%
居住地	葛飾区内（63）	98.4%	87.3%	65.1%	81.0%	58.7%	76.2%	82.5%	85.7%	58.7%	27.0%	39.7%	23.8%	98.4%	25.4%	63.5%
	北海道・東北（20）	95.0%	60.0%	15.0%	25.0%	10.0%	55.0%	15.0%	5.0%	-	-	-	-	90.0%	-	-
	葛飾区外東京都（68）	98.5%	60.3%	33.8%	42.6%	22.1%	55.9%	50.0%	54.4%	19.1%	4.4%	13.2%	4.4%	94.1%	1.5%	11.8%
	その他関東（109）	98.2%	50.5%	16.5%	36.7%	14.7%	54.1%	35.8%	33.0%	9.2%	2.8%	5.5%	0.9%	86.2%	2.8%	2.8%
	中部・北陸（34）	100.0%	55.9%	8.8%	29.4%	8.8%	47.1%	2.9%	11.8%	-	-	-	-	79.4%	5.9%	-
	関西（31）	96.8%	51.6%	12.9%	35.5%	3.2%	38.7%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	3.2%	74.2%	-	-
中四国・九州（32）	96.9%	50.0%	9.4%	28.1%	3.1%	53.1%	9.4%	6.3%	3.1%	-	3.1%	-	75.0%	6.3%	-	

Q14-2：葛飾区の観光資源で行ったことがあるもの。(複数回答可)

◆認知度とほぼ同じ結果になっており、柴又地域の観光資源への訪問経験が多い結果となった。
 この中で、「矢切の渡し」(29.1%)については、認知度が実際の訪問に結びついていない結果となった。

	回答数	割合
柴又帝釈天・参道	333	93.3%
寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	165	46.2%
山本亭	75	21.0%
両さん像	117	32.8%
キャプテン翼像	42	11.8%
矢切の渡し	104	29.1%
水元公園	97	27.2%
堀切菖蒲園	103	28.9%
立石駅前商店街	43	12.0%
町工場見学	8	2.2%
伝統産業(江戸切子等)の見学・体験	16	4.5%
銭湯巡り	4	1.1%
寅さん像・さくら像	242	67.8%
モンテッチ公園・モンテッチマンホール	7	2.0%
郷土と天文の博物館(プラネタリウム)	40	11.2%
全体	357	



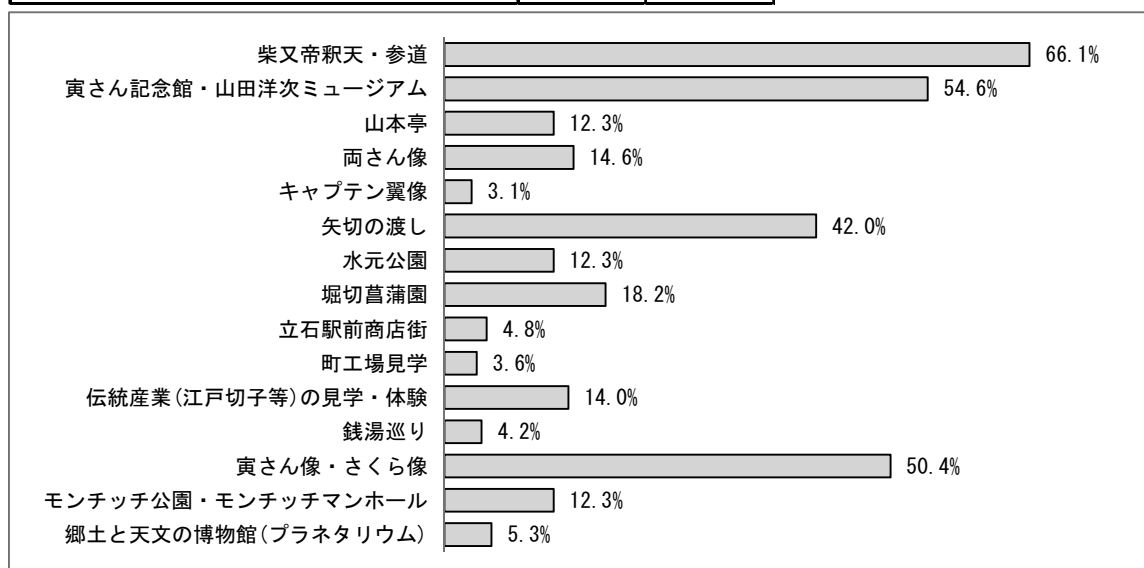
<属性クロス集計>

		訪問経験 _ 行ったことがある														
()=n		柴又帝釈天・参道	寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	山本亭	両さん像	キャプテン翼像	矢切の渡し	水元公園	堀切菖蒲園	立石駅前商店街	町工場見学	伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	銭湯巡り	寅さん像・さくら像	モンテッチ公園・モンテッチマンホール	郷土と天文の博物館（プラネタリウム）
全体	回答数	333	165	75	117	42	104	97	103	43	8	16	4	242	7	40
	比率（357）	93.3%	46.2%	21.0%	32.8%	11.8%	29.1%	27.2%	28.9%	12.0%	2.2%	4.5%	1.1%	67.8%	2.0%	11.2%
調査地	亀有駅南口（75）	68.0%	53.3%	25.3%	77.3%	32.0%	42.7%	49.3%	57.3%	25.3%	5.3%	12.0%	1.3%	64.0%	6.7%	33.3%
	柴又帝釈天題経寺（282）	100.0%	44.3%	19.9%	20.9%	6.4%	25.5%	21.3%	21.3%	8.5%	1.4%	2.5%	1.1%	68.8%	0.7%	5.3%
性別	男性（181）	93.4%	49.7%	21.0%	29.3%	9.4%	28.7%	24.3%	26.5%	11.0%	2.2%	5.5%	1.1%	66.3%	1.1%	8.8%
	女性（176）	93.2%	42.6%	21.0%	36.4%	14.2%	29.5%	30.1%	31.3%	13.1%	2.3%	3.4%	1.1%	69.3%	2.8%	13.6%
年齢	16歳～19歳（11）	54.5%	36.4%	-	81.8%	45.5%	36.4%	36.4%	81.8%	18.2%	9.1%	9.1%	-	54.5%	-	27.3%
	20歳代（25）	72.0%	24.0%	8.0%	52.0%	20.0%	4.0%	20.0%	12.0%	4.0%	-	4.0%	-	60.0%	4.0%	12.0%
	30歳代（48）	85.4%	35.4%	14.6%	37.5%	25.0%	18.8%	25.0%	22.9%	8.3%	-	-	-	54.2%	6.3%	6.3%
	40歳代（41）	97.6%	46.3%	14.6%	43.9%	12.2%	19.5%	19.5%	19.5%	7.3%	2.4%	2.4%	2.4%	70.7%	2.4%	12.2%
	50歳代（91）	96.7%	50.5%	25.3%	24.2%	5.5%	29.7%	23.1%	25.3%	8.8%	1.1%	1.1%	1.1%	69.2%	1.1%	7.7%
	60歳代（96）	99.0%	42.7%	18.8%	16.7%	2.1%	28.1%	22.9%	26.0%	4.2%	-	2.1%	-	66.7%	-	3.1%
	70歳代（39）	100.0%	66.7%	38.5%	43.6%	15.4%	59.0%	48.7%	46.2%	41.0%	10.3%	20.5%	5.1%	89.7%	-	30.8%
	80歳代以上（6）	100.0%	100.0%	66.7%	66.7%	33.3%	83.3%	100.0%	100.0%	83.3%	16.7%	33.3%	-	66.7%	16.7%	66.7%
居住地	葛飾区内（63）	93.7%	82.5%	58.7%	85.7%	31.7%	71.4%	82.5%	81.0%	44.4%	9.5%	17.5%	4.8%	87.3%	7.9%	57.1%
	北海道・東北（20）	95.0%	30.0%	5.0%	10.0%	-	10.0%	-	-	-	-	-	-	55.0%	-	-
	葛飾区外東京都（68）	95.6%	55.9%	26.5%	36.8%	19.1%	33.8%	33.8%	38.2%	16.2%	2.9%	4.4%	-	80.9%	1.5%	4.4%
	その他関東（109）	94.5%	49.5%	15.6%	28.4%	8.3%	25.7%	20.2%	22.9%	3.7%	-	1.8%	0.9%	74.3%	0.9%	0.9%
	中部・北陸（34）	94.1%	26.5%	-	8.8%	-	11.8%	-	2.9%	-	-	-	-	47.1%	-	-
	関西（31）	87.1%	3.2%	-	3.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	35.5%	-	-
中四国・九州（32）	87.5%	15.6%	6.3%	3.1%	-	6.3%	-	-	-	-	-	-	40.6%	-	-	

Q14-3：葛飾区の観光資源で行ってみたいところ。（複数回答可）

- ◆認知度に沿った形で「柴又帝釈天・参道」（66.1%）、「寅さん記念館・山田洋次ミュージアム」（54.6%）、「寅さん像・さくら像」（50.4%）と柴又地域の観光スポットが高くなっている。また、前設問において“知ってはいるが、まだ行ったことがない”スポットである「矢切の渡し」（42.0%）への高い訪問意欲が示された。
- ◆「伝統産業の見学・体験」（14.0%）や「モンチッチ公園・モンチッチマンホール」（12.3%）への訪問の潜在的なニーズの高さがうかがえる。

	回答数	割合
柴又帝釈天・参道	236	66.1%
寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	195	54.6%
山本亭	44	12.3%
両さん像	52	14.6%
キャプテン翼像	11	3.1%
矢切の渡し	150	42.0%
水元公園	44	12.3%
堀切菖蒲園	65	18.2%
立石駅前商店街	17	4.8%
町工場見学	13	3.6%
伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	50	14.0%
銭湯巡り	15	4.2%
寅さん像・さくら像	180	50.4%
モンチッチ公園・モンチッチマンホール	44	12.3%
郷土と天文の博物館（プラネタリウム）	19	5.3%
全体	357	



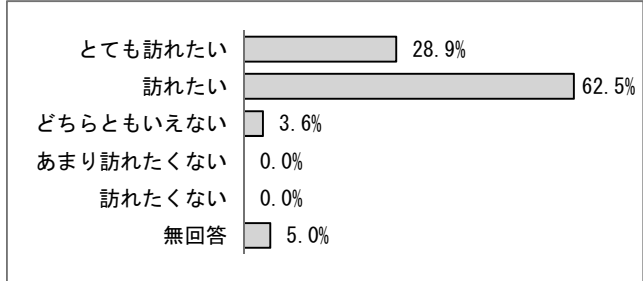
<属性クロス集計>

		訪問意思 _ 行ってみたい														
()=n		柴又帝釈天・参道	寅さん記念館・山田洋次ミュージアム	山本亭	両さん像	キャプテン翼像	矢切の渡し	水元公園	堀切菖蒲園	立石駅前商店街	町工場見学	伝統産業（江戸切子等）の見学・体験	銭湯巡り	寅さん像・さくら像	モンテッチ公園・モンテッチマンホール	郷土と天文の博物館（プラネタリウム）
全体	回答数	236	195	44	52	11	150	44	65	17	13	50	15	180	44	19
	比率（357）	66.1%	54.6%	12.3%	14.6%	3.1%	42.0%	12.3%	18.2%	4.8%	3.6%	14.0%	4.2%	50.4%	12.3%	5.3%
調査地	亀有駅南口（75）	61.3%	38.7%	9.3%	17.3%	5.3%	50.7%	10.7%	25.3%	4.0%	5.3%	26.7%	5.3%	34.7%	26.7%	10.7%
	柴又帝釈天題経寺（282）	67.4%	58.9%	13.1%	13.8%	2.5%	39.7%	12.8%	16.3%	5.0%	3.2%	10.6%	3.9%	54.6%	8.5%	3.9%
性別	男性（181）	67.4%	57.5%	10.5%	16.0%	2.8%	44.8%	13.3%	14.9%	5.0%	3.3%	10.5%	5.0%	52.5%	9.9%	5.5%
	女性（176）	64.8%	51.7%	14.2%	13.1%	3.4%	39.2%	11.4%	21.6%	4.5%	4.0%	17.6%	3.4%	48.3%	14.8%	5.1%
年齢	16歳～19歳（11）	45.5%	9.1%	9.1%	18.2%	9.1%	27.3%	18.2%	18.2%	18.2%	-	36.4%	18.2%	36.4%	36.4%	9.1%
	20歳代（25）	64.0%	56.0%	4.0%	20.0%	8.0%	32.0%	8.0%	16.0%	-	4.0%	16.0%	-	56.0%	32.0%	8.0%
	30歳代（48）	50.0%	47.9%	14.6%	16.7%	6.3%	35.4%	10.4%	10.4%	8.3%	6.3%	12.5%	4.2%	39.6%	41.7%	6.3%
	40歳代（41）	63.4%	56.1%	22.0%	31.7%	2.4%	53.7%	19.5%	19.5%	7.3%	7.3%	12.2%	7.3%	46.3%	9.8%	9.8%
	50歳代（91）	57.1%	52.7%	9.9%	8.8%	-	40.7%	5.5%	15.4%	-	1.1%	14.3%	2.2%	42.9%	6.6%	3.3%
	60歳代（96）	74.0%	62.5%	12.5%	11.5%	2.1%	43.8%	14.6%	19.8%	3.1%	-	11.5%	1.0%	61.5%	1.0%	3.1%
	70歳代（39）	92.3%	64.1%	12.8%	10.3%	5.1%	46.2%	20.5%	25.6%	12.8%	10.3%	10.3%	10.3%	64.1%	2.6%	7.7%
	80歳代以上（6）	100.0%	16.7%	-	16.7%	-	50.0%	-	50.0%	-	16.7%	50.0%	16.7%	16.7%	-	-
居住地	葛飾区内（63）	77.8%	39.7%	22.2%	20.6%	9.5%	55.6%	27.0%	39.7%	17.5%	12.7%	34.9%	14.3%	47.6%	12.7%	9.5%
	北海道・東北（20）	55.0%	60.0%	5.0%	10.0%	-	40.0%	5.0%	5.0%	-	-	20.0%	-	50.0%	10.0%	-
	葛飾区外東京都（68）	66.2%	50.0%	11.8%	8.8%	1.5%	36.8%	13.2%	25.0%	1.5%	1.5%	10.3%	-	51.5%	11.8%	4.4%
	その他関東（109）	58.7%	51.4%	9.2%	11.0%	1.8%	39.4%	11.9%	14.7%	2.8%	2.8%	8.3%	3.7%	45.9%	16.5%	8.3%
	中部・北陸（34）	64.7%	61.8%	8.8%	17.6%	2.9%	41.2%	-	8.8%	-	-	2.9%	2.9%	50.0%	8.8%	-
	関西（31）	67.7%	77.4%	9.7%	19.4%	-	41.9%	6.5%	6.5%	3.2%	3.2%	6.5%	3.2%	54.8%	9.7%	-
中四国・九州（32）	75.0%	71.9%	15.6%	21.9%	3.1%	37.5%	6.3%	3.1%	3.1%	-	15.6%	-	65.6%	6.3%	3.1%	

Q15：今後、葛飾区を再訪したいと思いますか。

◆「とても訪れたい」と「訪れたい」の合計が91.4%となり、再訪の意欲が高いことが示された。特に「とても訪れたい」という強い意向が3割弱を占めたことは特筆すべき結果であると言える。

	回答数	割合
とても訪れたい	103	28.9%
訪れたい	223	62.5%
どちらともいえない	13	3.6%
あまり訪れたくない	0	0.0%
訪れたくない	0	0.0%
無回答	18	5.0%
全体	357	100.0%



<属性クロス集計>

		再訪意向					
()=n		とても訪れたい	訪れたい	どちらともいえない	あまり訪れたくない	訪れたくない	無回答
全体	回答数	103	223	13	0	0	18
	比率 (357)	28.9%	62.5%	3.6%	-	-	5.0%
調査地	亀有駅南口 (75)	1.3%	89.3%	8.0%	-	-	1.3%
	柴又帝釈天題経寺 (282)	36.2%	55.3%	2.5%	-	-	6.0%
性別	男性 (181)	34.3%	60.8%	1.1%	-	-	3.9%
	女性 (176)	23.3%	64.2%	6.3%	-	-	6.3%
年齢	16歳～19歳 (11)	18.2%	72.7%	9.1%	-	-	-
	20歳代 (25)	16.0%	72.0%	12.0%	-	-	-
	30歳代 (48)	20.8%	72.9%	4.2%	-	-	2.1%
	40歳代 (41)	31.7%	58.5%	-	-	-	9.8%
	50歳代 (91)	23.1%	73.6%	-	-	-	3.3%
	60歳代 (96)	39.6%	51.0%	3.1%	-	-	6.3%
	70歳代 (39)	38.5%	46.2%	5.1%	-	-	10.3%
	80歳代以上 (6)	-	66.7%	33.3%	-	-	-
居住地	葛飾区内 (63)	19.0%	76.2%	4.8%	-	-	-
	北海道・東北 (20)	30.0%	60.0%	5.0%	-	-	5.0%
	葛飾区外東京都 (68)	36.8%	57.4%	1.5%	-	-	4.4%
	その他関東 (109)	29.4%	62.4%	0.9%	-	-	7.3%
	中部・北陸 (34)	35.3%	55.9%	5.9%	-	-	2.9%
	関西 (31)	19.4%	54.8%	12.9%	-	-	12.9%
	中四国・九州 (32)	31.3%	62.5%	3.1%	-	-	3.1%

(4) まとめ

■葛飾区の魅力の磨き上げ

葛飾区の魅力として、「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」「歴史・文化」「下町の風情」の3点が突出して多く挙げられた。葛飾区の魅力として最も多く挙げられた「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」は、「こちら葛飾区亀有公園前派出所」の「両さん」や映画「男はつらいよ」の「寅さん」の影響力の強さとともに、これらを活用した観光施策の成果の表れと捉えることができる。「歴史・文化」は「柴又帝釈天・参道」及び「矢切の渡し」などの柴又の魅力、「下町の風情」も柴又帝釈天題経寺の参道のまちなみを中心に、「こち亀」で描かれた亀有や立石の商店街など、葛飾区全体に対するイメージとしての魅力と思われる。

調査地点別に見てみると、更に特徴が見てとれる。JR亀有駅南口広場においては「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」が圧倒的に高くなった。一方、柴又帝釈天題経寺においては「歴史・文化」と「映画やドラマ、アニメ等のキャラクター」の二本柱となり、「寅さん」のまちとしての根強い人気とともに、長い歴史の中で地元住民が行政とともに守り育ててきた風景や街並みが柴又の“新たな”魅力として定着してきている結果と捉えることができる。平成29年11月に「葛飾柴又の文化的景観」が国の重要文化的景観として選定される答申が出され、正式に選定されれば、柴又は日本を代表する景観地として認められることになる。この新たな魅力をこれまで同様に大切に守りながら、効果的に情報発信していくことで、世代を超えて、また、国を超えて観光客を集めることのできる観光地へとようになっていくことができるのではないかと考える。

■葛飾区の観光の課題

一方で、葛飾区の滞在時間が短いことは大きな課題である。これを解決していくための手段のひとつとして情報発信の工夫が考えられる。葛飾区を訪れる観光客の情報収集ツールとして、「口コミ」、「テレビ」、「インターネット」の3つの媒体が挙げられた。これらは、どれかひとつに偏ることなく、テレビなどによって、その場所の雰囲気を知り、気分を醸成し、インターネットや口コミによって、その情報の精度を上げていくというように、連続的に利用されていると見るべきである。特に、インターネットについては、いくらでも深掘りが可能なツールであり、観光客のニーズに沿う情報の提供ができれば、訪問時の満足度を高め、また、葛飾区内の他の地域への周遊を含め、滞在時間の延長にも繋げることができる可能性を持つ。

また、葛飾区来訪時に「特に困ったことや不便だと感じたことはない」とする回答が85.4%という高い結果ではあったが、困ったことや不便だと感じたこととして、「区内の移動が不便」と「トイレが少ない」の2点が挙げられたことにも留意が必要である。交通インフラや施設の整備は決して簡単なことではないが、こうしたことをひとつひとつ改善していくことで来訪者の満足度の向上を図り、再訪へと繋げていくことが大切である。

■新たな観光資源の創出

本調査においては、調査地点の関係からクローズアップされることが少なかったが、葛飾区では、「四つ木・立石地域」において「キャプテン翼」、「新小岩地域」において「モンチッチ」を活用し

た観光振興に取り組んでいる。国内外での知名度を誇る両キャラクターであり、今後の更なる活用
が期待できる観光資源である。本調査において、葛飾区来訪の目的として「街歩き・ウォーキング」
と「グルメ・食べ歩き」が多く挙げられたが、「こちら葛飾区亀有公園前派出所」も含め、キャラク
ター銅像巡りと食べ歩きなど、目的を掛け合わせたモデルコースの設定により、新たな観光客の開
拓に繋げることができるかもしれない。さらに、こうした観光の動機付けとして、スタンプラリー
等のイベントやスマートフォンを活用したアプリによるサービスなども効果的であると考えられる。

4. 観光入込客数推計

本調査で実施した各種アンケート及び既存の統計資料を用い、平成28年度に葛飾区へ来訪した観光客数の推計を行った。推計の手法と考え方は、前回調査を基本とし、過去の推計との一定程度の比較検討が可能となるようにした。なお、本推計では、東京都外からの来街者以外にも、都内に居住し散歩等で訪れる来街者も含めた入込数を観光客数としている。また、表示単位未満を四捨五入して表記しているため、内訳と合計が一致していない場合もある。

(1) 平成28年度の推計

①柴又地域

調査対象となる柴又地域の推計にあたっては、柴又帝釈天や寅さん記念館をはじめ、様々な観光施設や観光資源が点在し、出入りが定められた観光施設等で用いられるようなカウントによる人数把握は困難であるため、前回調査同様に、最寄り駅であり正確な数の把握が可能である京成線柴又駅の乗降客数をもとに、柴又地域の観光客動向を示すデータのひとつとして観光客数を推計する。なお、推計にあたっては、土産物屋等だけでなく対象地域に所在する商店街等での日常的な買い物客等の数も含まれている。

A. 柴又駅利用客数の把握

京成線柴又駅の平成28年度の乗降客数のうち、推計に必要とされる降車人員数は以下のとおり。

京成線 柴又駅 平成28年度年間降車人員数（単位：千人）		
定期利用者	定期外利用者	利用者合計
782 a)	913 b)	1,695 c)

B. 徒歩・自転車以外の観光客数の推計

前項Aのデータをもとに、以下のとおり推計した。表中 a、bは前項Aの数値を表す。なお、それ以外の d、eは下段の[参考]表を参照。

徒歩・自転車（バイク）以外の観光客数	人数（単位：千人）
鉄道利用観光客数（ $b - (a \times d)$ ）	535 (f)
徒歩・自転車以外の観光客数（ f/e ）	607

[参考]

周辺の生活中心駅における定期外利用者／ 定期利用者の比率	0.484 (d)
徒歩・自転車利用を除く交通利用率	0.882 (e)

※参考値（d、e）算出方法

i) 周辺の生活中心駅における定期外利用者／定期利用者の算出

柴又駅における定期外利用の降車人員から、観光客以外の人数を除くため、下表から堀切菖蒲園・青砥・柴又・新柴又以外の各駅の降車人員数の合計で、定期外／定期を算出し、設定した。

平成28年度葛飾区内駅降車人員数（単位：人）				
鉄道	駅名	定期	定期外	定期外／定期
J R	亀有	9,732,725	5,451,275	0.560
	金町	12,700,905	5,862,630	0.462
	新小岩	18,589,815	8,927,170	0.480
京成	堀切菖蒲園	2,222,490	1,713,384	★ 0.771
	お花茶屋	3,780,840	2,136,045	0.565
	青砥	5,004,300	3,934,163	★ 0.786
	京成高砂	12,631,260	5,887,277	0.466
	四ツ木	1,706,430	1,038,109	0.608
	京成立石	4,775,940	2,107,189	0.441
	柴又	781,500	912,616	★ 1.168
	京成金町	2,950,650	1,665,388	0.564
北総	高砂	8,335,050	3,287,507	0.394
	新柴又	482,460	295,504	★ 0.612
周辺の生活中心駅の合計		75,203,615	36,362,590	0.484 (d)

※ J R については乗車人員数

A. 亀有地域の年間観光客数

- ・ 亀有地域の推計年間観光客数…428 千人（a）

B. 区来訪者で四つ木・立石地域を観光目的で訪問した割合

- ・ 「区来訪者インターネット調査」立ち寄り結果…亀有地域(42.9%)、四つ木・立石地域(13.1%)

C. 年間観光客数の推計

上記要素から年間観光客数を以下のとおり推計した。

$$(a) \times (13.1\% \div 42.9\%) = \underline{\text{約 131 千人と推計される。}}$$

(3) 特記事項

水元公園に関しては、平成 28 年の年間駐車台数が平成 25 年との比較で 135%となり、その数を大きく伸ばしており、公園の利用者数が増加していることを示すデータとなっている。

ただし、水元公園は少年野球場やドッグランなどの施設も有していることから、駐車場の利用者には、観光客としてはカウントできないこれら施設を日常的に利用する利用者も含まれていることが想定される。

したがって、前回調査を基本に算出した本推計では、「金町・水元地域」の推計値が大きく伸び、平成 28 年度において「柴又地域」の推計値を超える数値となっているが、算出方法の違いとともに、こうした点にも留意しておく必要がある。

その他、新小岩地域においてモンチッチ公園やモンチッチマンホールなどの新たな観光スポットが注目されるようになってきており、この地域の観光客数の把握等についても検討していかねばならないなど、今後、各地域の観光客数を把握していく上での新たな指標や算出方法等について、研究・検討が必要になってきているものと思われる。